

もっといい明日が見えてくる - Letters from Gnoble

＜ 保存版 ＞

# Gnoble

グノレット

# G-let

vol. 26

2021年6月発行

東大合格  
特集号

医学部合格者  
インタビュー併載



グノブルを活かし、最大の効果を上げるヒント満載。  
15期生の合格者インタビュー特集。

15期生 合格者インタビュー

東京大学 **文系** ..... P1-13

東京大学 **理系** ..... P14-30

国立大学 **医学部** ..... P31-35

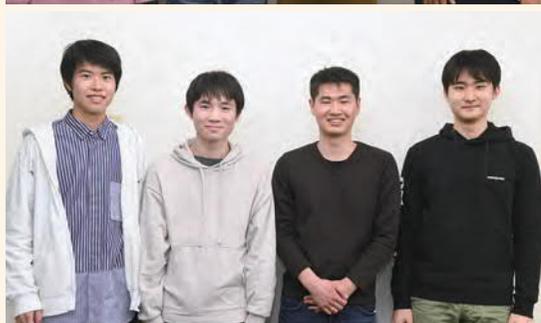
2021年東京大学・医学部合格者インタビューをお届けします。

膨大な情報量になっていますが、グノーブルを活かして最大の効果を上げるためのヒントがぎっしり詰まっていると思います。これから大学受験をされる皆さんには、マーカー類を片手に、気になる発言や参考になりそうな箇所に印をつけながら全編に目を通すことをお勧めします。

勉強を進めていく時に大切なことは、先輩の体験や先生の助言を参考にしながら、徐々に自分に合った勉強法を確立していくことです。このグノレットの中に、お手本にできることがあれば、ぜひ、お試しください。

また、勉強に行き詰まったり、気持ちが折れそうになったり、迷いが生じることもあるでしょう。そんな時には、改めてこのグノレットを開いて先輩たちの声に耳を傾けてみてください。きっと勇気もらえると思います。

2021年6月 グノレット編集部



15期生 合格者インタビュー

東京大学

文系

【座談会出席者】 (五十音順、本文中敬称略)

Part 1



たかはし はると  
高橋 温人さん  
(文II・駒場東邦)



たけうち くにあき  
竹内 邦彰さん  
(文II・駒場東邦)



みやがき まゆこ  
宮垣 真由子さん  
(文III・都立日比谷)



やまざき みう  
山崎 美羽さん  
(文I・渋谷教育学園渋谷)

Part 2



いまい ちひろさん  
今井 ちひろさん  
(文II・渋谷教育学園渋谷)



すぎざき こうた  
杉崎 晃太さん  
(文I・駒場東邦)



ほこやま りょうや  
鋒山 凌也さん  
(文II・筑波大学附属駒場)



やまだ ゆいか  
山田 結衣香さん  
(文II・女子学院)

# 東京大学 文系 Part 1

たかはし はると  
高橋 温人さん (文Ⅱ・駒場東邦)

たけうち くにあき  
竹内 邦彰さん (文Ⅱ・駒場東邦)

みやがき まゆこ  
宮垣 真由子さん (文Ⅲ・都立日比谷)

やまさき みう  
山崎 美羽さん (文Ⅰ・渋谷教育学園渋谷)

英語の学習に文法が大事なのは確かですが、文法や文構造に重きを置きすぎず、英文を英語のまま解釈していくグノの教え方に惹かれました。国語は面白さと勉強がちょうどいいバランスの授業なので、「この国語だったら学べるし、楽しんで続けられる」と思いました。

山崎 美羽さん (文Ⅰ・渋谷教育学園渋谷)

## 自粛期間中について

**山崎:** グノは、対面授業を受けているくらい濃密な映像授業を配信してくださったので、勉強面ではとても助かりました。

でも、友達と会えないのはちょっとつらく、喋りたい気持ちがつりました。

それから、それまで通っていた図書館に、人数制限や時間制限ができて、家で勉強する時間が増えました。その分誘惑が多く、気持ちを強く持ってはねのけなければならぬ大変さもありました。

**竹内:** 学校にも塾にも行けなくなったことで、他の人の様子がわからなくなりましたが、「とりあえず毎日、自分のベストを尽くそう」と思って勉強していました。周りが見えなかったことで、逆に自分のことに集中できましたが、友達と話せないのはつらかったです。

でも、そこは割り切って、グノの映像授業の課題と、映像授業で先生がおっしゃったことに集中して、目の前のことを一つひとつこなしていきました。

**宮垣:** 学校や塾に直接行けない中でだらけてしまうのを避けたいと思い、毎日「これをやろう」とか「この科目にこれくらい時間を割こう」とか、そういうことをきちんと自分で管理するように心掛けていました。

学校もグノもすぐに映像授業を準備してくださったので、勉強についてはそこまで困りませんでした。

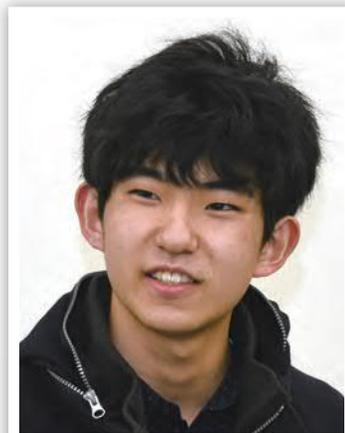
**高橋:** 5月くらいに学校も塾もオンラインになって、外に出ずに家にいる時間が増えました。夏休みが前倒しになったつもりで生活サイクルを律しようと思いました。

朝方に切り替えて、そこで1回生活リズムをつくれたのが自分の中では大きかったです。そのリズムは夏休みにも活かしました。

友人と会えなくなったことで、いつもの何気ない会話がいかに貴重なことなのかがわかりました。

## グノーブルに入ったきっかけ

**高橋:** 高2の冬休み前に、英語の力をもう少し上げたいと思って塾を探していた時、通っている友人が多かったグノが候補に挙がりました。

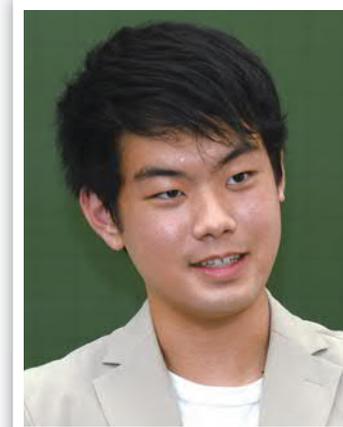


高橋 温人さん (文Ⅱ・駒場東邦)

どの人も楽しそうに通っていて、雰囲気が良さそうなのに惹かれて冬期講習を受講しました。「ここは良い塾だ」と思ってそのまま入塾しました。

**竹内:** 僕は新高2になるタイミングでした。

「学校で良い成績を取っていても、外に出るとどうなのかな？」という不安があって、僕も友人が多く通っていて評判の良いグノの春期講習に参加してみました。仲の良い友人が通っていたのがグノだったのも大き



竹内 邦彰さん (文Ⅱ・駒場東邦)

かったです。

先生がフレンドリーかつ教室がアットホームで、僕はそういう雰囲気が好きだったので、「この塾なら2年間頑張っていける」と思って、入塾を決めました。

他塾の英語に通っている人の話を聞いて、「そういう授業だと寝そうだ」と思ったこともありましたが、グノの授業は生徒も参加しているという意識が持てたので、寝そうになる瞬間は全くありませんでした。

**宮垣:** 私も高2の春に英語と現代文で入塾しました。

もともと英語は得意で「安定した得点源にしたいな」と思って、英語の評判が良いグノにしました。現代文は苦手だったので受講しました。

部活が体育会系で日数が多く、授業の振替ができるという点でもグノに魅力を感じました。

**山崎:** ひとつ上の姉がグノにお世話になっていて、楽しそうに通っている姿を見ていました。その姉から「教え方が合っていると思う」と勧められ、高1で入塾しました。

英語の学習に文法が大事なのは確かですが、文法や文構造に重きを置きすぎず、英文を英語のまま解釈していくグノの教え方に惹かれました。

文法のことを考えていると内容が

頭に入ってこなくなってしまうので、そういう意味でも「他の塾は合わない」と判断しました。

それから、高1で古文、高3で東大国語も受講しました。他塾の国語にも通ったことがありますが、私には雑談が多すぎました。雑談も授業に関係のある話や読解に役立つ具体例ならいいのですが、関係ない話だと時間の無駄に感じられて「早く進んでよ」と思ってしまいました。

一方、グノの国語は面白さと勉強がちょうどいいバランスの授業なので、「この国語だったら学べるし、楽しんで続けられる」と思いました。

## 学校でのグノーブルの話題

**山崎:** グノに通っている友達とは、クラス分けテストの前に問題を出し合ったり、一緒に確認しながら、お互いに励まし合っていました。

**宮垣:** 「英語の塾はどこに行っているの？」と聞かれた時、「グノーブル」と答えたら、「ああ、あの英語がすごいところね」と言われたのを覚えています。

**竹内:** 高3の時の学校のクラスでは、席の後ろふたつと斜め後ろとその横がグノ生でした。何かあるとサミングアップ\*1のGSL\*2が後ろから流れてくる感じで、「今週こんな内容だったよね」「先生がこんなことを言っていたよね」とグノの授業のことがよく話題になりました。

グノには駒東生が多いので、廊下で会った違うクラスの友人と、「今回のサミングアップは何点だった？」などとも話していました。

**高橋:** 駒東にはグノに通っている人が多いです。僕も友達とはサミングアップの話題で盛り上がりました。自分ができなくて相手が点数を取ると、「頑張るぞ」と気合が入ります。逆に自分ができているとうれしくなります。友達との会話が刺激になり

ました。

授業で扱う英文の内容も興味深いものが多くて、それもよく話題になりました。

## 英語の成績の伸び

**高橋:** グノに入って英語はかなり伸びました。

学校の実力テストでは学年順位が出るのですが、グノに通い始めた高2の1月は2百何十人中40番台でした。それからどんどん伸びて、20番台になって、1ケタに入って、最終的に2位になりました。

以前はどちらかという足を引っ張っていた英語が、得意科目になって得点源にもなりました。

グノの自宅学習としては音読しかしていません。朝起きて30分くらい音読して、1日1回英語に触れるペースをキープしただけでしたが、これが明らかに成績アップにつながりました。

**竹内:** 僕もグノで伸びました。

高橋君の言っていた実力テストでは、最後の試験で、グノに通っている人が50人くらい成績優秀者に載っていました。自分も伸びましたし、グノで学んでいる人たち全員が伸びたみたいです。

個人的な話だと、駿台の東大模試第2回で98点でした。その時の模試では5分くらい時間が余って、「グノの音読で、読むスピードも正確さも上がっている」と実感しました。

朝はベランダに出て大声で音読し、学校から帰ってきて夜にも読み込むというのを1年間続けました。

**宮垣:** 私も成績が上がりました。東大型模試では、夏の時に60点台だったのが、秋には20点以上上がった、「伸びている」と実感しました。

グノに入るまでは、英文をただ和訳することはできても、何を言っ

\*1 SUMMING-UP LABORATORY: 高3の英語(読解)で毎回実施される英文の要約演習。生徒一人ひとりの答案を担当講師が添削・採点して返却。音声教材も完備。知的にレベルの高い「読解力」の土台を築けるばかりではなく、「聴解力」「作文力」「話す力」や「プレゼン力」も鍛えるグノーブル独自の仕組みです。  
\*2 Gno-let Sound Laboratory: 中1から高3までの6学年すべてに毎週用意されているオリジナル英語音声教材。合理的練習法(ワークアウト)も確立されており、英語が得意なグノーブル生の土台を築いています。



宮垣 真由子さん (文Ⅲ・都立日比谷)

いるのか内容まではつかめていないことが多くありました。でも、グノの授業をしっかりと復習するというサイクルを続けていたら、英文を深く考えて読むことができるようになりました。

私の勉強法も音読です。

**山崎**：もともと英語は得意なほうでしたが、テストでは必ずしも良い点数を取れるというわけではありませんでした。

グノに入った時も最初はa4\*クラスでした。先生から薦められた語源ノートを作ったり、グノの授業を復習するやり方を自分なりに工夫していたら、クラスが上がっていききました。

グノのおかげで成績が伸びたのももちろん、何より英文をそのまま楽しめるようになりました。グノの英語は、受験だけでなく、受験後も役立つはず。会話する時に文法を考えている暇はないので、頭から聞いて理解しなければなりません。私は海外の方々仕事をしたいと思っているので、英語を語順どおりに前から理解するのは大切だと思います。

### 音読の効果

**山崎**：私は高3に入るまで、部活が

忙しかったこともあって、音読をないがしろにしていました。そのことを今はとても後悔しています。

先生に繰り返し言われてきた音読を習慣化したら、要約でも「ここがポイント、ここはサポート」と見抜けるようになってきました。

サミングアップのGSLを聞き込んで、文章を何十回も音読して覚えるくらいまで読み込むと、その英文を英作文でも応用して使えるようになりました。

**宮垣**：まず純粋に音読して楽しいです。自分で声に出して、サミングアップも暗唱してしまうまでひたすらやり込みました。

そうすると自分の音声で頭の中で流れるようになるので、それを応用して自由英作文でも英語のまま書けるようになっていくのを私も実感しました。

**高橋**：音読では返り読みができませんし、音読を続けていると、普通に英文を英語のまま解釈できるようになります。

授業で扱った英文は音読で復習するのですが、最初はつかえつかえです。でも1週間音読を続けているとスラスラ読めるようになって、読む速さも上がります。

音読していると、知らなかった単語があっても全部頭にしっかり残ります。「こんな文脈で出てきた単語だ」という覚え方だし、しかも授業の解説で語源などの成り立ちも聞いているので応用がききます。

2週連続で、同じ単語が出てくる別の英文を用意してくださることもよくありました。「この単語やったな」と記憶も蘇ります。先生が、語源を軸にして派生した使い方や意味を解説してくださるので、その単語への親しみもわくようになるし、その単語と出合うたびに、どんな文脈で出てきたのか、先生がどんな解説をしてくれたのかまで印象に残って

いきました。

**竹内**：その単語が「いつ、どういう文脈で、どういう意味で使われているか？」まで記憶に残るのがグノです。

単語帳だと、ひとつの単語につきひとつかふたつの意味で終わってしまいます。一方、グノだと語源も楽しく解説してもらえるし、用例も含めて教えてくれるので、「あの単語はネガティブなニュアンス、同じような意味でもこっちはポジティブ」といったことも覚えられます。

だから、英作文でも「同じような意味でも、否定の意味が強いのでこっちの単語ではない」などと判断できて、自分の使える単語の幅が広がりました。

音読の時には筆者の主張や思いも込めて声に出すので、そういう単語のニュアンスもより印象に残っていました。

それから、音読を続けていると速く読めるようになるし、速く読めるから全体も捉えやすくなります。

### 独特な英語の授業

**山崎**：私が「東大を受ける」と考え始めたのが高3の夏で、決心したのが秋でした。その時「東大の英語は大丈夫だろうか？」と思いました。

でも、サミングアップに真剣に取り組んで養われた力は、東大の要約以外の出題にも対応できるものでした。長文でもスピード感を持って読めるようになっていて、東大独特のタイトな時間の中でテキパキと英語の問題を解いていけるようになっていました。東大入試本番では見直す時間があつたくらいです。

知らない間に実力がついていたのはグノのおかげです。毎週先生が用意してくださった英文は、最新の話題を含めて興味深い題材ばかりでした。



山崎 美羽さん (文Ⅰ・渋谷教育学園渋谷)

生き生き読めなければ内容がつかめない英文もありましたし、表面的に読んでいたのでは筆者の真意が見えてこない英文にもたくさん取り組んできました。毎週そういう教材を楽しんだり、頭を悩ませたりしてきました。難しい英文も解説を聞けばいつもすっきりしたし、時には感動していました。

英作文も、たくさん課題を提出して丁寧に添削をさせていただいて、書くことに慣れていたので、怖くありませんでした。

グノの授業は本当に独特で、本当に濃密だったと思います。

**竹内**：独特といえば、先生との距離が近いことが一番挙げられます。グノの授業は先生と生徒の双方向のやりとりで進むので、僕たちも一緒になって授業をつくっている感覚でした。

それに、「いつ当たるんだろう？」という緊張感があるので、いつも頭が活性化された状態でした。

先生が用意してくださる英文教材も独特です。他塾だと大学受験の過去問が多いと思いますが、グノの場合は、ジャンルにとらわれず、幅広くいろんな英文を先生が用意してくださいます。

時には、「問題として出たら嫌だ

な」と思う苦手なジャンルもグノでカバーしてもらえたので、全般的なジャンルに対応できるようになりました。

宿題の自由英作文が毎週あって、「毎週出すな」と思ったこともありましたが、でも、毎週添削していただいたおかげでいろんなタイプに慣れることができ、入試本番でも「このくらい書ければ大丈夫」とわかったにありがたいものでした。

**高橋**：読解で先生が用意してくださる英文は本当に幅広い分野の文章でした。なかには小説や科学論文、哲学の難しい文章もありました。授業中は、先生が豊富な具体例を話してくださるので、興味を惹かれましたし、僕のいたクラスの先生はバードウォッチングが趣味なので、たまに聞ける野鳥の話も楽しかったです。

英作文は、100語という長めなのが毎週宿題として出されただけでなく、授業中にも様々な文章を英語で要約したり、漫画のセリフを考えるものがあつたりして、いろんなパターンに対応できる力が身につきました。

### 授業の楽しさ

**宮垣**：毎回の授業で当てていただけるので、程よい緊張感を保ちながらも、アットホームな雰囲気でも楽しく授業を受けていました。

教材もいろんな分野を扱ってくださって、自分ではいくら頭を使っても表面的にしか読めないジャンルにも触れられました。解説を聞いて、それまで見えていなかったものが見えてくるのはとても楽しかったですし、そういう経験を通して、英語を読む上でのペースを築けただけでなく、教養も深まったと思います。

**竹内**：毎週長文のテーマがガラッと変わるので、次のテーマがいつも気

になっていました。

友達からうわさで次のテーマが入ってくることもありましたが、知ったら知つたで「どんな授業の展開になるのかな？」と楽しみにしていました。

楽しめる授業だったので、終わったあとも「すぐに復習したい」という気持ちになりました。

グノでは、自分の知らないことにたくさん出会えたので、「きちんと自分のものにしたい」と思って、1週間グノの英文の読み込みをしていました。

「次はどんな授業だろう？」と、「今週の授業も絶対自分のものにしたい！」というのを行ったり来たりするのが楽しかったです。

**宮垣**：私も毎週、グノに行く時に「今日はどんな授業をしてくださるんだろう？」と楽しみにしていました。

英語の要約では良い点数を取れないことが多かったのですが、先生がいつもおっしゃっていた「練習段階での失敗はプラスでしかない」という言葉を励みに、授業が終わったあとも前向きな気持ちになれました。

**高橋**：週1回ですが、5時間ぐらい英語漬けになれる日があるのはありがたいことです。塾の前日はいつも気合を入れていました。

グノの場合、英作文や要約で出来が悪くても、先生から当てられて間違えても、先生に責められることは



高橋 温人さん (文Ⅱ・駒場東邦)

\*当時の通常授業は、a(最上位)、a1、a2、a3、a4の設定。

## 15期生 合格者インタビュー



竹内 邦彰さん (文Ⅱ・駒場東邦)

全くありません。「これを吸収すれば成長につながる」と考えて授業を楽しみ、授業が終わったあとも復習に力を入れていました。1週間ごとの英語学習のリズムができて、英語と触れ合う時間が増えました。

**宮垣：**私も英語と触れ合う時間は増えました。それまでは何となく英文を読んで問題を解くだけでしたが、グノに入ってからは、考えながら英語に触れるようになったのが大きな進歩です。

**竹内：**僕はグノに入る前もかなりの時間を使って英語に取り組んでいましたが、単語帳を暗記したり、文法の一問一答を解いたりしているだけで、「読む力や書く力がついたか？」といえばそうではありませんでした。

この時間をグノの復習に充てるようになったら、単語力から何から何まであらゆる英語力が上がりました。

**山崎：**私も、以前から英語が好きだったけれど、英語の力が身につけていたわけではありませんでした。

グノに入ってからは本当に英語の力が身につけていきましたし、前よりもっと英語が好きになったので、授業や授業の復習だけでなく、それ以外の時間も英語に触れていたいという気持ちが強まりました。

## グノーブルの国語

**宮垣：**難解な文章を読むのが苦手だったので、高2で現代文を受講し

ました。

先生が誰でもわかる言葉を使ってわかりやすく説明してくださって、いつも「なるほど」と納得していました。毎回面白い例を話してくださるので、みんなが笑顔で明るい雰囲気での授業でしたし、私も楽しかったです。

**山崎：**高1で古文、高3で東大国語を取りました。

グノでは、古文の世界観の面白さを生き生きと教えていただけました。「当時はこういうふうに季節を感じ取っていたんだな」などと思えると、古文を楽しんで読めるようになりました。

もともと古典文法が苦手で、古文を見ても文字が並んでいるだけしか見えませんでした。グノで教わるようになってからは、古文が暗号ではなくなって、読むのが好きになりました。

東大国語では、いろいろな年の過去問を解いて、添削していただきました。国語は解答例がひとつに決まっていないので、一対一で添削して下さるのがありがたかったです。

点数を取るコツとか、「字数が余ったらこういうことを書けばいい」とか、戦略的なことも教えていただきました。

## グノーブルの先生

**山崎：**グノではどの先生も楽しんで教えてください。嫌々授業をして上から目線になるのではなく、生徒と同じフィールドに立ってくださっているのがよくわかりました。

「一緒に学力を伸ばしてあげたい」という気持ちが感じられて、自分も「頑張ろう」という気持ちになりました。

先生の笑顔が多いと、教室の雰囲気も明るくなって、毎回の授業が楽しみになります。

**竹内：**今年の冬は、教室の窓やドアを開けていなければならなかったのですが、僕たちは「寒い」と言って座っていました。

それなのに、読解の先生はワイシャツの袖を捲って授業をしていました。僕たちより全然年上の先生がピンピンしているのに、僕たちが震えているのは「情けないんじゃないか?」と思い、「自分たちも先生を超えるくらい頑張ろう」と奮起しました。

それから、先生方の教養がとても深いので、英語だけでなく、知識人として知っておきたいことを授業の文章に絡めて教えてもらえました。いろいろなことをこの1年で吸収できたのが印象に残りました。

**宮垣：**先生と生徒の距離が近くて、先生が生徒一人ひとりのことを本当に考えてくださっているのがわかりました。

高3の1年間は特に勉強で行き詰まってしまうことが多くありました。英文が全然読めなくてスランプに陥った時などはよくメールで相談させていただいて、自分が送ったものの2倍くらいの量の温かいメッセージと的確なアドバイスをいただき、精神的にも支えていただきました。

何人もの生徒を教えているのに、ここまで一人ひとりのことを考えてくださっているのはありがたかったです。

**高橋：**入塾直後に驚いたのは、先生



宮垣 真由子さん (文Ⅲ・都立日比谷)

が普通に僕の名前を知っていて、「高橋君、今日は授業ですね」と言われたことです。「何で名前を知っているんだ?」と思いました。

顔と名前を覚えてくれたことだけでなく、サミングアップで「ここが足りないよ」「こうしたほうが良いよ」と親身にアドバイスしてくださったのも印象的でした。

授業中には話がどんどん膨らんでいて、いろんな小話や豆知識も飛び交います。勉強だけでなく楽しさを感じていました。

## グノーブルの環境

**宮垣：**部活のスケジュールで振替を利用したり、教材を忘れてしまったりした時、受付の方にお世話になりました。いつも丁寧に対応してくださったのでありがたかったです。

**高橋：**振替できるので僕も助かりました。

それから、オンラインでも実際の授業の録画を見られるようになったので、家で授業を受けたい時には便利でした。

でも、やっぱり対面授業のほうが気持ち引き締まって集中できるので、コロナ禍でも対面授業を受けられる環境を整えてくれたことに感謝しています。

**山崎：**教室がとてもきれいだし、清潔なのはありがたかったです。授業が終わったあと、先生方が疲れているにもかかわらず自分の手で教室を消毒している姿を見ると、「対面で授業を受けられるように準備してくださっているんだな」と改めて感じました。

**竹内：**僕は、白で統一されている教室の感じが好きでした。他塾だと床の汚れが目立つところもありましたが、グノではカーペットに足をつけていて不快な感じがありません。

そういう面で、余計な心配をせず

に先生のほうを見て、黒板と机の上のプリントに集中できる環境がこの教室にはそろっています。

## 後輩へのアドバイス

**山崎：**私は「東大を受けよう」と決めたのが遅かったのですが、それでもグノで培ってきた力は応用がきいて、無事に東大に合格できました。

グノで勉強していれば、どの大学を受けるにしても力になってくれます。高い目標にチャレンジしてほしいです。

それから、先生方の言うことを信じるのは大事です。

**竹内：**先生のおっしゃっていることは、これまでの指導実績を背景にしていることなので、たとえ嘘だと思っても信じて1か月や2か月の短いスパンで良いのでやってみてください。「やっぱり正しい」というのがわかるはずですよ。

グノを信じて、充実した一日一日を過ごしていきましょう。そうすれば、東大だろうがどこの大学だろうが、グノでやったことは絶対に裏切りません。

**宮垣：**私が受験生だった時は、多くの先輩方が「グノを信じて」と書いているのを見て、正直「本当にいいのかな?」と信じ切れない気持ちもありました。

でも、実際に合格をいただいて振り返ってみると、「グノを信じるこ



山崎 美羽さん (文Ⅰ・渋谷教育学園渋谷)

とで結果はついてくる」と実感しています。

もちろん主体的に努力していく必要はありますが、それでも基本は「グノを信じて」の一言に尽きます。

**高橋：**グノがどんなに良い授業や教材を用意してくれても、音読などの基本的なことを継続して自分でやらないと伸びないと思います。

グノをフル活用しながらも、自分で主体的に勉強することが大切です。

# 東京大学 文系 Part 2

いまい 今井 ちひろさん (文Ⅱ・渋谷教育学園渋谷)

すぎさき こうた 杉崎 晃太さん (文Ⅰ・駒場東邦)

ほこやま りょうや 鋒山 凌也さん (文Ⅱ・筑波大学附属駒場)

やまだ ゆい か 山田 結衣香さん (文Ⅱ・女子学院)

毎日音読をしました。音読を続けると、暗記ではなく、脳の奥に染み込むというか、英文が体に染みていく感じで、自分の脳が英語脳に近づいていきます。染み込んでいる英文は、自由英作文の時にもすぐに応用できました。

杉崎 晃太さん (文Ⅰ・駒場東邦)

## 自粛期間中について

今井：受験勉強を始めた頃は、一人で勉強することに少し不安を感じていました。でも自粛期間中に、意外と家で勉強する習慣がついたので、その面での不安が解消されました。

ただ、友達の進捗状況がわからなかったことが不安材料になりそうだったので、ライバルでもある友達と頻りにLINEで連絡をとって、お互いに近況を聞いてモチベーションを保っていました。

前日の夜とか当日の朝に必ず1日のスケジュールを決めて、スケジュールどおりに行動するようにしていました。

それから、ストレスをためないように時々親と会話をしていました。

杉崎：僕の学校は、高3生が5月の体育祭に力を入れます。前年から体育祭に向けて頑張り、体育祭が終わったら切り替えるというのが伝統で、例えば、自分の組の色に髪を染め、体育祭翌日から坊主にして勉強モードに入る、という人もいます。

その体育祭がなくなったのはショックでしたし、どこで区切りをつけて勉強に集中すればいいのか



今井 ちひろさん (文Ⅱ・渋谷教育学園渋谷)

わからなくなっていました。でも、模試は予定どおりに実施されるようだったので、それをモチベーションになんとか気持ちの切り替えをしました。

友達とはLINE通話を使っている喋っていました。

山田：私の場合、いろいろ事情があって高2の2月末に文転しました。そのため、コロナ禍で登校できなくなったことに対しては、「これを好機にしよう」という気持ちでした。家にいなくてはならない時間を、全然進んでいなかった地歴の勉強に

ぼ費やしました。

私は周りの人たちと状況が違ったので、「友達の話を知りたい」「友達と話したい」とは思いつつ、周りの人から「これだけやった」と聞いて焦ることへの恐怖もありました。だから、友達と話すよりも、親に全部ぶつけて、受けとめてもらっていました。

鋒山：僕はもともとかなりインドア派なので、ずっと家にいるのは快適でした。

映像授業は、一時停止して内容をじっくり考えてから次に進める点で自分には合っていました。

学校のオンライン授業で普通に会話ができただけで、他の人とのコミュニケーションをとれていないわけはありませんでした。

## グノーブルに入ったきっかけ

鋒山：周りの人たちは中学入学後すぐに塾に通い始めていましたが、僕は、入学後すぐに勉強する気にはなれませんでした。

冬が近づいた頃に塾に通う気になり、グノの説明会に参加しました。宿題が少なめで、授業で学習がある

程度完結するというので、グノに魅力を感じました。その時の体験授業も面白くて、雰囲気も良かったので、中1の冬から英数で入塾しました。

国語の受講は高校生になってからです。

今井：私は中2の冬から英語を習い始めました。たまたま仲の良い友達を通して、その友達が「授業が面白いよ」と勧めてくれたのがきっかけです。

他塾の体験授業にも参加してみましたが、先生からの一方通行な授業でした。一方、グノは生徒と先生のやりとりで授業が進むし、アットホームさがあったので良かったです。

もうひとつ理由があって、グノの指導方針が学校の方針とかなり似ていて、音読・リスニング・多読を重視している点が「自分に合っている」というのも決め手でした。

杉崎：もともとグノに通っている友達が多く、先輩も強く勧めてくれたので、高2の春に入りました。

僕は「もう少しあとでもいいかな」と思っていたけれど、あとになるほど入塾が厳しくなると聞いていたので、この時期にしました。

中学生の頃は他塾の英語に通っていましたが、本格的な受験塾ではなくネイティブと話したりする塾で、



杉崎 晃太さん (文Ⅰ・駒場東邦)

全然英語の成績が伸びませんでした。だから、高校では受験に強い塾に移るつもりでした。

山田：私は高3の夏期講習からです。文転したので「地歴で人と差ができてしまう。何かでアドバンテージを取らないとヤバイ」と思っていました。

グノに通っている学校の友達が多くて、私が「英語どうしようかな?」と相談したら、「グノがいいよ」と教えてくれました。他塾をいろいろ見ている時間もなかったから、グノの英語に通っている人が多いのを信じました。

## グノーブルに通ってみて

今井：毎回グノに向かうのがとても楽しみでした。先生が用意してくださる英文はいつも面白いので、それを読みたくて体が欲する感じでした(笑)。

授業中は何度も当てられるので緊張感があって、「先週の復習をちゃんとしてから行こう」という気持ちもいつもありました。

杉崎：僕は基本的に塾が好きではありませんでした。でも、グノには「このテストで何点を取らなければいけない」という重苦しい雰囲気がなく、本当に先生も楽しそうだし、一人ひとりの名前も覚えてくださって、とても良い雰囲気なので、グノに行く前の電車で「嫌だな」と思ったり、足が重たくなったりしたことは一度もありませんでした。

毎回学校で読むのとは全然違ういろんな英文が教材として用意されていて、それが楽しみでした。

山田：私は高3の夏期講習からいきなり入ったので、最初のうちは、授業のペースが速かったり、急に当てられたりして、「ハードだな」と思っていました。ついていくのに必死で、解説を聞くだけでも精一杯でした。

それが、1か月くらいで慣れてき

て、段々と自分で考えて「こういうことなんだ」と納得しながら授業を受けられるようになりました。授業の内容を吸収できるようになったら、グノの楽しさがわかるようになっていきました。

鋒山：僕の学校では11月に文化祭があって、高3生も積極的に参加します。そういう時期は「文化祭を優先したい」と思うこともありました。でも、グノの授業に出てみると、「出て良かった」と思えたり、むしろ「出ていなかったらかなりまずかったな」と思ったりもしました。

先生方は授業の内容と絡んだ雑談をしてくださって、それが本当に面白かったです。添削していただいた答案の点数が良くない場合は気落ちしましたが、その後の解説はいつも楽しみでした。

## 英語の成績の伸び

今井：英語力は本当に伸びました。伸びた一番の理由は、ずっとグノを信じて、グノの教材をやり込んだからです。

特に伸びたのは高3の夏休みでした。自分で勉強できる時間が増えた時、グノの高3カリキュラムに入ってから教材を「もう一度復習しよう」と思って、2周、3周したのが効果的でした。

杉崎：僕もかなり伸びました。先生に何度も言われたことですが、まず次の日までに授業で習ったことの知的な理解を徹底し、知識の習得にも努めて、その週の教材を体になじませるための読み込みを毎日やりました。

24時間以内の徹底的な見直しを通して、「授業で先生がこんなこと言っていたな」と思い出しながら完璧に理解するようにしていました。そうすると、その後の1週間は新鮮な記憶のまま復習できるので、楽しく勉強を継続できました。

## 15期生 合格者インタビュー

**山田**：以前は他塾の英語を受講していましたが、いろんな大学の過去問を先生が解説して、生徒は板書を写すという授業スタイルでした。予習してから解説を聞くまでに時間が空くので、自分の間違いを思い出しくなくて、鮮度が落ちる感じでした。

一方、グノは、過去問よりも高度な内容の英文を扱っていましたが、演習してすぐに解説に入ります。「どうして間違えたのか」「どんな考え方をしたのか」が新鮮な状態で解説を聞けるので、理解が深まり、自己分析にも役立ちました。

グノには高3の夏休みから通い始めたのですが、他科目の遅れを補えるところまで英語を伸ばせたと思っています。実際に本番の試験が終わったあと、「英語はできた」と手応えを感じました。

**鋒山**：僕は中1から通っていましたが、最初の1、2年くらいは宿題だけやっつけてやっていたので、ずっと下のクラスでした。

でも、中3の時に「さすがにまずいな」と思って、一応テストの前だけはきちんと勉強して、そこから復習の量を増やして行って、少しはマシになりました。

高1からはずっと一番上のクラス



山田 結衣香さん (文Ⅱ・女子学院)

にいられるようになりました。「やっぱり復習が大事だったんだな」と思います。

それから、グノには中学生からGSL\*1があります。ディクテーションをきちんと書けないと早く帰れないので、最初の頃はそれが嫌で勉強していたら、英文法の基本例文は自然と頭に入っていました。高校生になってからの成績の安定に関係していると思います。

## GSL の効果

**山田**：家では音読をしていました。「少しずつ毎日やろう」と決めていて、授業でやった分を考えて、計画的に1週間で身につけられるようにしました。

グノの読解で扱われる英文は、他の塾では多分扱わないんじゃないかと思うレベルの英文ばかりで、内容がとても高度で頭の訓練をしているような印象も受けました。解説を一生懸命聞いていたのに、復習していると理解できていないことに気づくこともよくありました。

そんな時には先生にメールで伺って疑問点を解消し、その上で読み込みに励んでいました。やっているうちに、「そういうことを言っているんだ！」と筆者の主張がすっきりわかり、全体の流れもきれいに覚えて、それが快感でした。

**今井**：私も音読を大事にしています。普段はお風呂でGSLを聞いていて、それを続けていたら、英文を読むスピードが速くなり、英語を英語のまま理解できるようになりました。

英語のまま理解できるようになると、文法の知識を使って日本語で英文を解析していくのではなく、感覚的にわかることが増えるので、スピードも格段に速くなります。

それから、英文を自分で書く時に

文がスラスラ出てくるようにもなりました。お風呂場でのリスニングを始めたのは高2の最後くらいからです。「そういうふうに行っている先輩がいる」と先生に教えてもらったので、自分も同じことを始めたんです。お風呂には毎日入るのでリスニングを習慣化できました。

**鋒山**：要約\*2の点が悪かったり、読解の授業の時に解釈が難しい英文に出合った時には、先生に「しっかり音読しておいてね」と言われます。

そういうところを中心に、最初にバツと読んでもうまく意味が取れなかった箇所を自分になじませていく感覚で、集中的に音読しました。

リスニング教材の音読では、自分が言いたいことを自分で喋っているつもりでまねしていたら、スピードに慣れて、聞き取る力が上がりました。

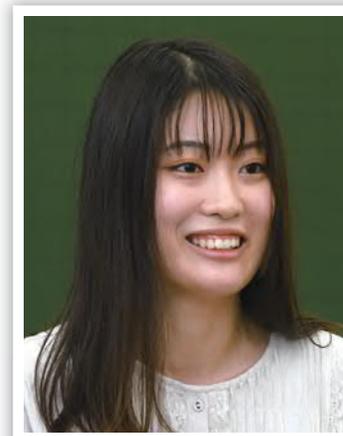
中学1年のうちはあまり勉強していませんでしたが、授業のテキストの基本例文を覚えるため声に出していたので、それも効果がありました。

**杉崎**：僕も毎日音読をしました。音読を続けると、暗記ではなく、脳の奥に染み込むというか、英文が体に染みていく感じで、自分の脳が英語脳に近づいていきます。

染み込んでいる英文は、自由英作文の時にすぐに応用できます。他の英文の解釈にも役立ちます。内容がちよっと変わっても、同じような形をした英文は無限にあるからです。

**山田**：私は要約の英文は何回も音読しました。音読の回数を重ねると、大事な部分と大事ではない部分が自然とわかるようになって、「ここは大事なんだよな」と自分に言い聞かせながら読めるようになります。

そうすると、他の文章を読んでも、読みながら「ここは筆者の言いたいこと」とか「ここは言いたいことの説明」「言いたいことの例示」というのがわかるようになって、文



山田 結衣香さん (文Ⅱ・女子学院)

の流れがきれいに見えるようになりました。

## 英単語の覚え方

**鋒山**：単語帳は一時期使っていましたが、途中で使うのをやめました。

バツと覚えるのに単語帳が便利そうなのですが、どうしても効率重視になってしまい、最初のほうに書かれている意味だけを日本語で覚えていくことになりがちでした。

日本語の意味を知っていれば、その英単語がわかった気にもなっていました。

でも、授業で当てられて訳していくと、先生からは頻繁に「文脈を考えてもっと柔軟に解釈してください」と指摘されました。

先生が「この単語は、前に出てきた別の語の言い換えだから」と、英和辞典には載っていない意味でその単語を訳していくこともありました。

そういう経験から学んだのは、文章の流れを理解して単語の意味を捉えることの大切さです。柔軟に意味を捉えるには語源を踏まえるのが有効だということにも気づけました。

グノでは、英単語を語源から説明してくれます。そしてその単語のイメージを、先生が黒板に絵で描いてくれたり、動作でやってみせてくれ

たりしました。語源から意味が派生していくのも例文と共に説明してもらえました。

先生はよく、「英単語と日本語の単語の意味がぴったり一致することはほとんどない」とおっしゃっていましたが、その意味が今ではよくわかります。

**杉崎**：グノに入る前までは、僕も単語帳を赤シートで隠して覚えていました。その覚え方だと、単語の羅列の流れとか「あのページの左下」という感じで覚えてしまうので、いざ緊張した時、意味が全然出てこなかったり、「どっちがどっちだっけ？」となったりします。

でも、グノに入ってから、先生が毎回、どんな単語に対しても成り立ちを教えてください、同じ語源を持つ単語も並べてくださったので、頭が整理でき、語と語のつながりで単語を覚えられました。

いろいろな単語の派生的な意味も無理なく頭に入るようになりました。

結果として、緊張して意味が出てこなくなることもなくなって、語彙力が本当の意味で伸びました。

**山田**：私の学校では単語帳のテストが高1からあって、以前はその対策を結構しっかりやっていました。例文の中に5、6個くらい新しい単語が出てきて、例文を覚えればその単語も覚えられるというコンセプトの単語帳でした。

高3の春に「もう1冊単語帳をやったほうがいいのかな？」と思って単語帳を買いましたが、グノに入って「ひとつの意味を覚えるだけではダメだ」とわかったので、その単語帳はやりませんでした。

単語は基本的な意味を知っていても、必ずしも応用がきくわけではなく、文脈から想像しなければいけないことがほとんどです。このことがわかってからは、学校の単語帳で覚えた意味をベースにして、グノで新しく知った単語や、基本的な単語の

知らなかった意味を補足していきま

した。  
**今井**：私も高3の最初の頃に「単語帳をやろう」と思いましたが、単語帳の暗記はつまらないし、一対一で覚えていたら受験が終わったあとにすべて忘れそうだったので、「将来にとっても良くないのでやめよう」と思ってやめました。

グノの先生が勤めるやり方なら、文脈から意味を推測できるようになるし、応用もきくし、第一につまらない作業も不要なので、グノのやり方のほうが自分には合っていました。

## グノーブルの英語と東大本番

**今井**：教材はいつも面白いものでした。解説も面白かったです。先生の教養あふれるかなり深い雑談やネタも聞けたからです。

例えば、新高3としての授業が始まった頃は、まだ新型コロナウイルスは局所的な流行でした。そういう時にすでにコロナ関連の時事ネタも柔軟に取り入れてくださっていました。

日本での自粛期間中には、アメリカの学生たちが新型コロナについてどんなことを考え、どんな活動をしているかという現地の報道も教材になりました。

時事的な話題ばかりではなく、とにかく教養が深まって面白い話題が教材になっていたのも、いつも母親に「こんなことがあったんだよ」と



今井 ちひろさん (文Ⅱ・渋谷教育学園渋谷)

\*1 Gnable Sound Laboratory：中1から高3までの6学年すべてに毎週用意されているオリジナル英語音声教材。合理的練習法（ワークアウト）も確立されており、英語が得意なグノーブル生の土台を築いています。

\*2 SUMMING-UP LABORATORY：高3の英語（読解）で毎回実施される英文の要約演習。生徒一人ひとりの答案を担当講師が添削・採点して返却。音声教材も完備。知的にレベルの高い「読解力」の土台を築けるばかりではなく、「聴解力」「作文力」「話す力」や「プレゼン力」も鍛えるグノーブル独自の仕組みです。

伝えていました。

そのおかげで、英語だけでなく他の教科の力にもなりました。東大模試で他の教科の問題を解いている時、特に現代文で「これは、この前グノの英文でやった」となることが多かったです。それから、私大の小論文対策をする時も、グノで読んだ英文でカバーできました。

**杉崎**：グノの教材には時事ネタが多くて、臨場感があります。「本当にこのニュースが現代の世界に流れているんだ」というのが伝わってくる文章は楽しかったです。

とにかく、知っている教養になる話ばかりで、僕たちの糧になる教材でした。

**鋒山**：11月の文化祭前後は疲れていて、授業には遅刻して参加していました。そんな疲れている状態でも、グノの授業に出ると目が冴えました。

東大の入試本番では、正直なところグノの教材よりも若干簡単だと思いつながり解いていました。

本番のリスニングの途中で聞き逃しそうになったこともありましたが、以前模試で似た経験をした時にグノの先生に相談したことがあったので、先生のアドバイスを思い出して余裕を取り戻せました。グノで習ったことを本番でも有意義に活かしました。

**山田**：本番は他の科目で失敗したこともあって、「最後の英語で何とかしなければならぬ」とプレッシャーのかかる状況でした。

東大の英語ではいろいろなバリエーションの問題が出題されますが、「全部グノでやったので大丈夫」と自分に言い聞かせながら問題に向かっていました。

時間配分についても、自分が間違えやすい弱点についても、「グノであれだけ自己分析できたから大丈夫」と自信を持って対処できました。

本番の試験では、緊張している中で自分の最大限の力を出せたと思

います。

**杉崎**：僕も、入試本番は模試のどの時よりもできて、本当に「調子がいい！」と思えるくらいでした。特に第5問は、現代文に出てきそうなエッセイで、結構入り込まないと内容をつかめない文章ですが、それもグノでの演習時のように解釈していくことで、「わかる！」となつてうまくいきました。

**今井**：グノの教材が東大入試に役立つことは3つあります。

1つ目は、東大の英語では、理系文系問わずいろんな分野の英文が扱われますが、グノの教材で鍛えた総合力でカバーできました。

2つ目は、東大の英語はかなり量があって時間が厳しく、私も高3夏頃は「終わらないかも」と思ったほどです。でも、グノの英語についていけば、入試前には時間内に終わるようになります。

3つ目は、授業内演習は周囲に人がいて緊張感が生まれるので、それが本番でも活かせることです。緊張した中でも、英文を読んだら自然と内容が入ってくるようになりました。

## グノーブルの数学

**鋒山**：僕の学校は数学が得意な人が多くて、僕は完全に落ちこぼれだと感じていました。

学校の授業だと、訳のわからない数式がいきなり出てきて、わかっている人たちはわかっているけれど、僕は全くわからないという状況が何度もありました。

また、きれいな答えを見せられればそれが答えになるのはわかるけれど、自分がどうやってそれをまっさらな状態から導けるようになるかわかりませんでした。

そこで、高3の時に、数学はすべてグノを信じることに決めました。

グノの数学では、「どういう動機



杉崎 晃太さん (文I・駒場東邦)

で問題を解けばいいのかわかるのか？」を日本語でわかりやすく説明していただきました。そのおかげで数学が苦手な人間でも、戦略というか、「どこから考えていけばいいのかわかりました。

セルフチェックシート\*は、解けた問題に関しても、もう一度考えてみるきっかけになりました。「他に解き方があった」とか「最初に無駄なことをして時間をロスした」とかは、このシートに向かうからこそ気づけます。

間違った問題は当然気をつけますが、正解した問題に関しても質の良い勉強につなげられたのはこのシートのおかげです。

もちろん、自分のミスに対する理解も深まりました。数学は〇×をつけて終わりになりがちですが、自分で考える機会を課題としていただいたことは有意義でした。

最初はセルフチェックシートの記入には少し苦痛が伴いましたが、必要なこととして受け入れていくうちに、自分の糧になっていきました。

## グノーブルの国語

**鋒山**：高1で古文、高2で現代文、高3で東大国語を受講しました。

東大国語でお世話になった先生は、本当に話が面白かったです。古文の知識を無理やり詰め込むのではなく、話の背景や関連事項を膨らませなが



鋒山 凌也さん (文II・筑波大学附属駒場)

ら解説してくださり、授業が単調になることはありませんでした。

英語と同じく国語も授業中に当てられるので、知識の確認もできました。古文の単語や知識をそれだけで扱うのではなく、文章を読んでいく中で学習するスタンスだったので、英語と同じでした。

## グノーブルの先生

**山田**：以前の塾では先生がマニュアルどおりに教えている感じがあって、質問をしても「こうだからこう」とテキストどおりでした。

一方、グノの先生方は熱意にあふれていて、生き生きとしていらっしゃいます。クラスにいる全員が当てられる緊張感もあるし、「一言も逃さずに聞きたい」という意欲を持って聞いている雰囲気もありました。

グノに移ってからは、先生の話が速くて解説も面白くて、必死に聞いて、必死にメモを取っていたので、頭がフル回転していました。

**杉崎**：先生方は皆さん、本当に英語が大好きで、活力にあふれている印象でした。どの先生からも本当に僕たちのために授業をしていることが伝わってきましたから、心から信頼できました。

読解の先生の授業を初めて受けた時、先生が教室の中を走っていて、「この先生はエネルギーのかたまり

だ、すごい」と思ったのをよく覚えています。

**今井**：どの先生からも熱意を感じました。高1や高2の時は、宿題の手を抜いた時期もありましたが、先生に励まされて「しっかりやろう」という気持ちになりました。

高3の時の先生は、間違ったことを答えた生徒たちに、「全然失敗していないだよ。練習段階での失敗は全部成長につながるから」というようなことを、いつも言ってくださいました。失敗を肯定してくれる授業は居心地が良く、「次も頑張ろう」と思えました。

メールで質問しても数時間で返信があったり、添削も夜遅い時間でも返してもらえて、最後までフォローしていただきとてもありがたかったです。

**鋒山**：僕は特に数学の先生にお世話になりました。何回か質問について、特別に時間を取っていただいて、2時間くらい喋っていたことがあります。

あまりよくわかっていなくても、先生と話しているうちに「どうしてわかっていなかったのか？」が明確になっていきました。「何となくできないです」みたいなどうしようもない質問を持っていったとしても、何らかの形で具体的なアドバイスや明確な方針をいただいたのもありがたかったです。

## 後輩へのアドバイス

**今井**：「東大の英語は難しい」と言われますが、グノを信じて勉強していれば大丈夫です。グノの先生の言うことを聞いて、特に授業で扱った教材の復習をやり込むことを大切にしてください。

**山田**：東大の英語は難しいですが、グノの英語よりは簡単です。東大の英語のあらゆる出題形式を網羅して

いるグノの教材を徹底的に復習して、わからないところをすべて潰せば、東大にも受かります。

私は高3の夏からでも受かったので、本当にしっかりグノについていけば大丈夫です。

**杉崎**：本番は緊張してしまうけれど、そういう時に助けてくれるのは、毎日継続してきた音読です。英語は継続が大切なので、そこを頑張りましょう。

とはいえ、嫌いだと毎日続けるのは難しいので、「今日もグノを楽しむぞ」という気持ちで授業に臨んで、復習も楽しんでやってほしいと思います。

**鋒山**：グノの先生は復習をとて強く勧めます。僕自身は復習に関しては反省点もありますが、だからこそ、復習をきちんと頑張してほしいと思います。

やはり、英語の音読や数学のセルフチェックシートの確認は徹底的にやるのがいいと思います。

それから、国語の先生にアドバイスをいただいたことですが、東大は科目数が多いので、1科目で自分のベストが出せなくても引きずらず、「全体として合格点を取れば良い」と考えて、特に2日目立て直すことが大事です。僕は数学でちょっと失敗しましたが、そのアドバイスを思い出して気持ちを切り替えて合格できました。東大受験生にはこのことを意識してもらいたいです。



山田 結衣香さん (文II・女子学院)

\*セルフチェックシート：高2文系数学、高3数学で生徒自身が宿題終了後に記入するシート。解けた問題には「どう解いたか」、解けなかった問題には「何ができなかったか」などを記入。自分の傾向や理解度を分析して客観視し、次のステップへとつなげるグノーブル独自のツール。担当講師が目を通しコメントをつけて返却しています。

# 東京大学

## 理系

### 【座談会出席者】(五十音順、本文中敬称略)

#### Part 1



あんどう ひろき  
安藤 裕基さん  
(理Ⅱ・駒場東邦)



なみ い てつ ま  
浪井 哲磨さん  
(理Ⅰ・東邦大学付属東邦)



にしやま こうへい  
西山 航平さん  
(理Ⅱ・駒場東邦)



まつむら たお  
松村 大央さん  
(理Ⅲ・筑波大学附属駒場)

#### Part 2



おおば けん と  
大場 健斗さん  
(理Ⅰ・暁星)



かわかみ けん  
川上 健さん  
(理Ⅰ・海城)



こたに り か  
小谷 梨歌さん  
(理Ⅰ・豊島岡女子学園)



Y.Y. さん  
(理Ⅰ・駒場東邦)  
※ご本人の希望により、イニシャル表記にしています。

#### Part 3



えぐち りょうま  
江口 稜馬さん  
(理Ⅰ・駒場東邦)



かない こうたろう  
金井 皓太郎さん  
(理Ⅰ・麻布)



ささだ ようた  
笹田 陽太さん  
(理Ⅰ・開成)

## 東京大学 理系 Part 1

あんどう ひろき  
安藤 裕基さん (理Ⅱ・駒場東邦)

なみ い てつ ま  
浪井 哲磨さん (理Ⅰ・東邦大学付属東邦)

にしやま こうへい  
西山 航平さん (理Ⅱ・駒場東邦)

まつむら たお  
松村 大央さん (理Ⅲ・筑波大学附属駒場)

グノの数学では、必要な解法を教わるのはもちろん、「どの解法をどう選んだら良いか?」「どうして解答例のような解法が一番いいのか?」を教えてください、そこが良かったです。セルフチェックシートを書くと、同じところでつまづいた時に「またやったな」と気づけて、そこを確実に覚えられました。

浪井 哲磨さん (理Ⅰ・東邦大学付属東邦)

#### 自粛期間中について

**松村:** 自粛期間中は、学校が休校になり、オンライン授業も少なくして宿題も出されない状況でした。ですから、その期間を利用して、ほとんど手をつけていなかった理科の勉強に集中していました。

いつもの僕は基本的に集中力が持たず、長時間の勉強ができません。でも、逆にあの時期は他のことができなかつたので、思いのほか勉強に集中できました。

ただ、学校にも塾にも行けなくて、友達と会ったり話したりできなかったのはつらかったです。だから、家で弟と雑談したり、趣味の時間をもつことで気を紛らわせていました。

**西山:** 学校の試験もなく、自分の実力を測れないという不安がありました。だから、普段はしないけれど、その時期はアプリを使って勉強時間を記録したり、友達と勉強時間を報告し合ったりして乗り切りました。

一人でずつといるのは厳しいものがあった、友達とLINEのビデオ通話をしたこともあります。

**安藤:** 学校や塾に行けば、先生に直接質問できたり、友達と顔を合わせて喋れたりしますが、そういうのがなく一人で自分の部屋にこもっているのはつらかったです。

僕も頻りに友達とLINE通話でやりとりして、その日にあったしょうもないことを共有し合っていました。「みんなで勉強しているんだ」という気持ちになると、不安が和らぎ、やる気にもつながりました。

1日を時間割みたいに区切って「1限は英語、2限は数学」と入れていき、普段の学校と似せることで学習習慣をつくっていました。時間割を決めることでだらだらと過ごすこともなくて、集中すべき時には集中できました。時間割作りは友達と一緒にやっていました。

**浪井:** LINEのビデオ通話や、Zoomを使って友達と話せたので、確かに精神的に少し救われました。

勉強に関しては、以前から家で勉強することが多かったため、自粛期間中も特に変わったことはありませんでした。理系科目と文系科目を1時間ずつ交互に勉強して、全科目1

周したらもう1周というスタイルでした。

#### グノブルに入ったきっかけ

**安藤:** グノに入ったのは中3の3月です。同じ部活の友達が中1からグノに通っていて、その勉強の様子を見ていましたし、「グノの英語はいい」と周りで評判にもなっていました。

春期講習の英語を受けてみたら、学校では扱わない語源も説明してもらえてとても刺激的でした。

他塾の授業も受けましたが、宿題が多く、学校の授業で内職するという本末転倒なことをしたくなかつたので、候補から外しました。

グノに通っている駒東生が多かつたので、学校でもグノの先生や授業のことを話題にできたり、お互いにグノを楽しみながら実力を高められたのも良かったです。

**浪井:** 僕は高1の春からです。先にグノに通っていた兄から勧められたのがきっかけです。他塾の授業も受けましたが、グノは先生がすぐに名前を覚えてくれて、対応も親身にし



安藤 裕基さん (理Ⅱ・駒場東邦)

てくれたので、それが決め手になりました。

**西山**：僕は中2から中3の1学期までシンガポール日本人学校に通っていました。シンガポールの塾で担当していただいた先生に「帰国後はどこの塾がいいですか？」と聞いたら、「英語はグノが有名だよ」と教えてくれました。

でも、帰国して気づいたのは数学の遅れでした。シンガポール日本人学校の進度は、日本の公立の学校と変わらなかったからです。駒東に戻って見たら数学の成績がかなり悪く、「これではいけない」と思って、まずは数学を中心に塾を探すことにしました。

シンガポールの塾の先生がおっしゃったように、グノは「英語の塾」のイメージですが、調べたら数学も良さそうでした。高1の春期講習で、グノと他塾の数学を受け、先生が親身なことや、授業のわかりやすさなどを考え、4月の通常授業から、数学と英語でグノに通い始めました。

**松村**：僕は高3の春から入塾しました。最初は国語のウエイトが大きかったんです。国語をちゃんと勉強したことがなく、古典がほぼわからない状態だったからです。

筑駒の親同士のネットワークで「グノの国語は非常に良い」という

うわさが流れていると聞いていたこともあり、グノの春期講習を受講しました。古典を一からやるにあたって、すぐわかりやすく、また楽しく学ぶことができ、「これならやっていける」と思いました。

それまで英語は別の塾に通っていましたが、そこでは高3になると過去問演習が中心になることがわかっていました。その頃の僕は、語彙や文法に詰めが甘いところがあって、「土台ができていない状態で過去問演習をしても、理解が断片的になって力がつくはずがない」と思っていたので、英語もグノにすることに決め、転塾しました。英語も高3の春から受講しました。

### グノーブルに通ってみて

**松村**：グノに行くのは毎回楽しみでした。少人数なので先生が一人ひとりに問いかけてくれたり、こちらの答え方に応じて先生が掘り下げてくれたりして、展開が先生からの一方通行ではなかったので授業が生き生きとしていました。

解説の内容が受験に必要な知識にとどまらないのも僕には良かったです。例えば英語の場合、英文の背景について先生が興味深い話をどんどん広げてくださったので、大学受験の一步二歩先の知識まで吸収できるのが面白かったです。

僕は「受験に必要なことだけ効率良く」とはあまり考えていなくて、「面白いことは何でも吸収したい」という気持ちでした。

**浪井**：高3になると、英語も数学も授業が長いのに、いざ始まると時間を忘れて集中していました。

まずどの先生も元気がいいし、解説を聞いていると「そうだったのか」という発見もあり、周りのみんなが集中しているの感じられました。

グノの授業ほど集中力が持続でき

る環境は他にはちょっとないかもしれません。

**安藤**：僕は学校から仲のいい4、5人で通っていて、一緒に通塾するだけでも毎週の楽しみでした。

授業でも、答えられた時の喜びや、話を振られた時に瞬時に答える面白さがありました。

さらに、それとは別に、英文が読み物としてそれ自体面白かったです。英語だからというのものもあるかもしれませんが、内容が「なるほどな」と思えるものばかりでした。

**西山**：よくありがちな授業だと、先生が黒板に英文を書いて、括弧で括ったりしながら「ここは何とか節」と説明するのを生徒は聞いているだけです。

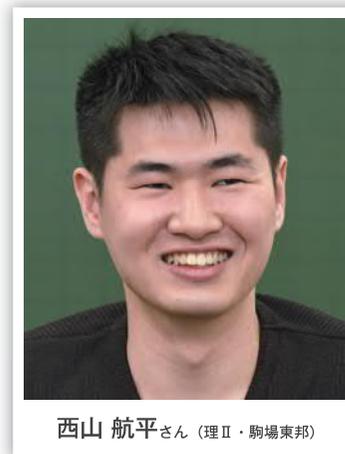
グノはそれとは違って、いつも「授業が面白い」と思っていました。英文の題材自体が興味深いものだったし、先生の解説は英文の背景にまで及んでいて楽しかったです。先生と生徒のやりとりで授業が進んでいくので、気が抜けるタイミングもなく、こっちも参加して授業をつくっている気持ちで受けられました。

### 英語の成績の伸び

**松村**：僕自身は非常に伸びたと感じています。



浪井 哲磨さん (理Ⅰ・東邦大学付属東邦)



西山 航平さん (理Ⅱ・駒場東邦)

夏の東大模試ではかなり低かった点数が段々上がって行って、本番は今までの中でも最高の手応えでした。自己採点で低めに採点しても最高点でした。

グノの英語は、宿題は少なく、その代わりに授業内の演習が充実しています。解いた時の記憶が新しいうちに解説も受けられるので、授業の最初から意欲的に取り組みました。

英語力そのものを上げる、だから結果として得点力もつく、ということにグノでは重点を置いていて、語彙は語源から、文法の仕組みも成り立ちから、トピックセンテンスやサポーティングセンテンスなど英文の読み方も基本から学べたので、英語を体系的に学び直すことができました。

高3からでもしっかり基礎が固まり、読み方を徹底的に鍛えられたことが良かったです。

グノの教材には大学受験で使わないような知識も出てきますが、だからこそ楽しく学べたし、これから先、絶対に役立つと思っています。

**西山**：実際の入試の話だと、もともとリスニングが苦手でしたが、本番のリスニングはかなりよくできました。解答速報とも照らし合わせて確認しましたが、グノの音読のおかげだと感じています。音読すると聞き

取りやすくなるのは普段から実感していました。

そもそも英語の力は、グノで総合的に伸ばせたと思っています。高1からの授業を通して、英語の知識を自分の中に体系的に獲得できたのが大きかったです。

グノの授業は指名されるので、答えられなかった時に悔しい気持ちが残って定着したというのがあります。

何より、他ではあり得ないくらいの質と量の英文に触れられて、それに真剣に取り組んで、毎回復習する習慣ができていたのが伸びにつながりました。

**浪井**：高1の春に初めて受けた授業の感動をよく覚えています。語源から英単語の説明を聞いたのは初めてでした。

グノの先生が楽しそうに単語の成り立ちを解説してくれる様子に、僕は本当に感動しました。語源で覚えるといろんな単語を一気に覚えられますし、間違いやすい英単語をちゃんと正しく使い分けられます。スペルミスも軽減できました。初めて見る単語でも、1回見たことのある単語と似た語源が入っていると、「大体こういう意味かな」と推測できるようになります。

**安藤**：高1になる直前の入塾した当時は、復習を意識的にできていませんでしたが、それでも英語の力が伸びている実感がありました。英文法や語法が体系的に身についたのが良かったです。

高1である程度の量の英文を読むことも、グノに通っていたからできたことでした。高3になると英語を読む量も、書く量もかなり増えましたが、グノに通っていなければ、英語に触れる機会が圧倒的に少ない高校生活だったと思います。

東大に入学すると早速ALESS\*の授業があります。「本当に大変で面倒くさい」という先輩たちの話を

聞いたことがあります。特に考えていることを英語で書くこと自体に苦勞しているようで、最近機能が向上してきた翻訳アプリを駆使している人もいます。

グノでは英語の良い土台を築いていただけました。これから英語で論文を執筆する上でも、学術論文を読む上でも生きてくると思っています。

### グノーブルの英文教材

**松村**：僕がグノの英語で感動したのは、教材の内容が面白かったことです。

他塾だと基本的に、高2、高3の教材は、どこかの過去問から引っ張ってくるものがほとんどです。

グノで扱う英文は、大学受験の枠を超えて、多彩で興味深いテーマばかりだったので全く退屈することなく、いろいろなジャンルの教養まで身につけられました。

しかも、それぞれの教材の順番がとてうまく組まれていて驚きました。1週間、2週間前にやった内容にドンピシャの英文に出会うと、「あっ、これだ!」とうれしくなります。自分一人でも深く読める経験は、次の復習の意欲につながります。

それほどしっかり復習していなくても、「こんなのをやった」という



松村 大央さん (理Ⅲ・筑波大学附属駒場)

\*Active Learning of English for Science Students：東京大学の理科Ⅰ類からⅢ類の1年生全員に必修で、英語を「当たり前の言語」とするために行われているアカデミック・ライティングの授業。

うっすらとした記憶があれば、そのやったことをもう一度振り返りたくなって、結果として復習につながります。

その振り返りを2、3回重ねるとそのテーマについての素養が身についていきます。よく考えられているなあと感じていました。

**安藤**：「今日はどんな英文に出合えるんだろう」というのがグノに通う楽しみのひとつでした。

毎週先生が用意してくださる英文の内容は興味深いものばかりで、最新の社会情勢だったり、哲学や芸術、科学の話題だったり、受験にも役立つ脳科学に関わる話なども扱われました。

難度の高い英文もよくありましたが、背景知識を先生が生き生きと解説して下さったので、とても学びが良かったです。

**西山**：いろんなテーマの文章に英語で触れられるのが面白かったし、受験勉強とは直接関係ない知識も得られて、興味の幅が広がりました。先生が楽しそうに話している様子から、様々な知識を身につけていくことの素晴らしさにも気づけたように思っています。

**浪井**：先生が一方向的に解説していくだけではなく、「これはどういうことだと思いますか？」と質問を投げかけてくださることがありました。投げかけられて初めて、素通りしただったことに気づけます。



安藤 裕基さん (理Ⅱ・駒場東邦)

授業中のそんな経験が、英文を深く理解したり、味わったりするきっかけになりました。

**安藤**：扱った英文を頭だけでなく体にもなじませてしまう、というのがグノの特徴です。

GSL<sup>\*1</sup>を使って、耳も口も鍛え、ジェスチャーも加えて音読やシャドーイングをして、よりネイティブスピーカーの思考回路や発音に近づけてゆくのを楽しんでいました。

緊急事態宣言が出ていた頃は、特に集中して取り組んでいて、英文の言い回しも自然と身につく、英語での論理展開にもなじめるようになりました。

通塾できるようになってからも、時間が空けば音読ばかりやっています。

## グノーブルの数学

**浪井**：グノの数学では、必要な解法を教わるのはもちろん、「どの解法をどう選んだら良いか?」「どうして解答例のような解法が一番いいのか?」を教えてもらえて、そこが良かったです。

セルフチェックシート<sup>\*2</sup>は、できなかったところを反省文のように書くので、戒めのようになったり、できたところが励みになったりしました。セルフチェックシートを書くと同じところでつまづいた時に「またやったな」と気づけて、そこを確実に覚えられました。

**西山**：数学に関しては、おそらくほぼ0に近い状態、得意からは程遠い状態からのスタートでしたが、グノで基礎から教えてもらい、高1の時に学校の成績もかなり伸びました。

高2、高3の時は、自分が出した答案やセルフチェックシートに先生の丁寧なコメントつきで返してもらえて、それが数学の勉強へのモチベーションになりました。



浪井 哲磨さん (理Ⅰ・東邦大学付属東邦)

セルフチェックシートは本当に役立ちました。セルフチェックシートがなかったら、間違えた問題を「そう解くんだ」と流してしまい、振り返ることはなかったと思います。

このシートがあるおかげで自分の思考の弱い部分にも気づけました。「自分はこういう認識を持ったほうがいいのかな?」というのを書いて提出すると、先生がそれを認めてくれることもあれば、「それはやめたほうがいい」と返してくれることもあって、自分の思考を修正するきっかけになりました。

先生に書いてもらえたコメントから教訓になるものを選び出して、別のノートに書き写したりもしました。そのノートは試験会場に持っていき、「自分はこれだけ弱みに気づけて、だからこそ成長できたんだ」という証明になって、試験本番でもそのノートを持っていることで安心できました。

数学が東大入試で武器になったかどうかは微妙でしたが、もとの状態から考えると十分すぎるくらいに伸びました。

## グノーブルの国語

**松村**：古文も漢文も記号にしか見えていなくて意味がさっぱりわからない状態だったので、入塾当初の演習はボロボロでした。でも、先生が現代文に置き換えて解説してくださる

と、「そういうことか!」と胸にストンと落ちました。

わかりやすく楽しい先生の解説を聞いているうちに古典の世界にどんどん引き込まれ、原文のまま読めるようになってきて、「古典は面白い!」と思え、着実に成績も伸びました。

教材は東大とセンター試験の過去問に加えて、原典や東大以外の大学の改題もありましたが、それを難易度順に並べて用意していただけたので、自分の成長を実感できて面白かったです。

**浪井**：高1の古文では、かなりたくさんさんの文章を読みました。入塾前は古文を全く読めませんでした。授業を受けているうちに自分でも品詞分解が正しくできるようになりました。

解説の時には先生が現代の状況に置き換えて話をしてくださったり、文章に突っ込むのが面白く、そんな授業を楽しんでいるうちにどんどん理解が深まりました。

## グノーブルの先生と受付

**安藤**：高1の時からいろいろな先生に習いましたが、グノの先生は指導に対して熱意をお持ちの先生ばかりでした。

振り返ってみると、高1の時の先生はとてもフランクで話やすく、それが毎回授業後に質問する習慣に



西山 航平さん (理Ⅱ・駒場東邦)

つながりました。

高2、高3の時も、質問をしまくって、いつも疑問はその日のうちに解消してから帰宅できていました。

どの先生にも質問しやすかったですし、どの先生からもいつも明快な答えがいただけてスッキリできていました。

高3で教わった読解の先生は本当に熱い方で、その熱心さが僕らの原動力になって、「期待に応えよう」とも思いました。英文を読むことは筆者との対話であるということや、前から順に読んでいって、出てくる疑問をどんどん追いかけるという読み方など、英文読解の基本を叩き込まれました。

英作文の先生は英語の歴史にもとても詳しくて、知的な面白さを感じる授業でした。

**浪井**：英語も数学も質問に丁寧に答えていただいたのが印象的でした。

コロナ禍の自粛期間の時だけでなく、いつでもメールなどで質問や添削に丁寧に対応していただきました。直前期でもメールで質問するとすぐに返信していただけて、とても感謝しています。

**西山**：グノでは、先生と生徒で相互のやりとりがあって、こちらが受け身ではられない授業をしてくれるので、そういう意味では独特だと思います。

**松村**：メールでも直接でも、質問にはすぐに対応してもらえました。

それから、先生たちは話がうまくて、ボンボン話題が出てきます。授業とは思えないくらいの話のうまさで、どんどん授業に引き込まれて、そのおかげでたくさんさんのことが記憶として定着しました。

それから、グノの受付は、すぐに丁寧に対応してもらえます。いつも受付の方の優しさが伝わってきました。

**浪井**：受付で「お名前を教えてください」



松村 大央さん (理Ⅲ・筑波大学附属駒場)

さい」と聞かれて、上の名前だけ答えたら、「〇〇君ですね」とフルネームを言うてくださって、「すごい」と感心したことがありました。

講習の追加申込を前日に電話でお願いしたこともあって、その時にも受講ができたのでもう助かりました。

## 後輩へのアドバイス

**安藤**：僕は音読を勧めます。僕たちは日本語を喋っているのに、英語は意識的に体になじませる必要があります。その有効なやり方がグノの音読です。

習慣的に英語に触れるという意味でも音読は大切です。普段から音読で英語を体に染み込ませていけば、試験会場でも処理速度が上がります。

**浪井**：グノの先生は生徒一人ひとりに対して丁寧に相談に乗ってくれるし、添削もしてくれるし、質問もできます。だから、甘えられるところは先生を頼っていいと思います。

その上で、先生の言ったことを思い出しながら、復習を大事にしてほしいと思います。

**西山**：僕は過去問を解くことを中心にした時期がありました。しかし、結果的にその時期にはあまり伸びませんでした。

僕が成績を伸ばせたのは、グノでの演習と復習を中心にした勉強でした。周りが「過去問を早くやったほ

\*1 Gnable Sound Laboratory：中1から高3までの6学年すべてに毎週用意されているオリジナル英語音声教材。合理的練習法(ワークアウト)も確立されており、英語が得意なグノーブル生の土台を築いています。

\*2 セルフチェックシート：高2文系数学、高3数学で生徒自身が宿題終了後に記入するシート。解けた問題には「どう解いたか」、解けなかった問題には「何ができなかったか」などを記入。自分の傾向や理解度を分析して客観視し、次のステップへとつなげるグノーブル独自のツール。担当講師が目を通しコメントをつけて返却しています。

## 15期生 合格者インタビュー

うがいい」と言っている、グノの勉強を最後まで堅実に継続することが大事です。直前期は過去問中心の生活になる受験生が多いと思いますが、それには流されないことが大切です。

**松村:** グノの教材のメリットとして、授業をちゃんと受けて吸収した上で

復習を続ければ、ガツガツ勉強しなくても実力が身につくことが挙げられます。伸び悩んでいると思っても、グノを信じてやり続けることが大事です。

そして、グノの先生に質問することを厭わなければ、さらなる成長につながります。

高3の1年間は特に、勉強する時間としない時間をちゃんとつくったほうが、精神的にも落ち着きます。ずっと勉強していたら精神を削る一方で回復できません。ある程度休みつつ、自分のサイクルをつくっていきましょう。

## 東京大学 理系 Part 2

おおば けん と  
**大場 健斗**さん (理I・暁星)

かわかみ けん  
**川上 健**さん (理I・海城)

こたに りか  
**小谷 梨歌**さん (理I・豊島岡女子学園)

Y.Y. さん (理I・駒場東邦)  
※ご本人の希望により、イニシャル表記にしています。

グノという「英語の塾」のイメージがありますが、私は「数学もすごい」と言いたいです。

少人数で、「最低限の問題を押さえればあとは応用できる」というのが、授業と宿題からも実感できて順調に成績を伸ばせました。先生の解説もわかりやすく、質問もしやすく、楽しく学べました。

小谷 梨歌さん (理I・豊島岡女子学園)

### 自粛期間中について

**Y.Y.:** グノーブルは映像授業が充実していて丁寧な対応もあったので、塾に通っている充実感を味わえましたし、勉強面での不便もそこまで感じませんでした。

ただ、誰とも話さないと、何もかも自分の中に閉じ込めていくようになって、それが勉強面での心配よりつらかったです。学校の授業が始まった日は、それまでの思いから、ずっと喋っていました。

**小谷:** 休校により自宅で過ごす日が増えたので、逆に自分のペースで勉強ができて良かった面もありました。

学校の映像授業も楽しく勉強できましたが、グノの映像授業はそれ以上でした。何回も授業を見られたので、自分のペースで勉強できました。私はもともと友達とべったりした関係ではなく、LINEをしたり実際に会って話したりすることも多くありませんでした。コロナ禍は自分と向き合える時間ができて私にとってはプラスでした。

**川上:** 僕は、授業に関しては対面のほうが効果的だと思っていたので、自粛期間は厳しかったです。

グノの対面授業は先生と生徒がやりとりしながら進んでいくので、周りの反応から、自分が気づいていな

かったり、理解できていなかったりしたことなど、いろいろなことを学べます。一人で勉強していると、そういう対面授業のメリットがないと感じました。

それから、友達と図書館に行って勉強するリズムをつくっていたのに、図書館が閉鎖して使えなくなり、家での勉強のリズムを確立するまでに時間がかかってしまったのが大変でした。定期的に友達に電話して近況を報告し合うことでストレスを発散していました。

**大場:** 自分の学校はオンライン授業にならず、課題だけ出されました。そのおかげで、自分の勉強を自分の



大場 健斗さん (理I・暁星)

ペースでできました。

ただ、誰にも会わないと、周りがどれくらいできているのかわからなくて、自分の今の位置を把握できない不安はありました。

自粛期間は、友達と会えないというマイナスな感情よりも、受験勉強に関する焦りや不安のほうが大きく、とにかく目の前の勉強に集中するようにしていました。

### グノーブルに入ったきっかけ

**大場:** 中1の時に親に勧められて入塾しましたが、僕自身のやる気がなくて続きませんでした。

高2で受験を意識し始めた時、もう一度入塾しました。周りの友達も「グノーブルは良い塾だ」と言っていました。グノの英語は受験だけにとられない感じがあって、本当に良い塾だと改めて思いました。

**川上:** 僕は高校1年の夏期講習からグノの英語を受け始め、そこからずっと通っていました。

直接的なきっかけは姉です。姉は高3の1年間グノの英語に通っていて、第一志望に合格しましたが、「英語で受かったようなもの。一番役に立ったのは最後のグノだった」と言っていました。その言葉は信用できると思いました。

**小谷:** 高1で東大を目指そうと思った時、親に「どんな塾がいい?」と聞かれて「大人数のところは無理」と伝えました。先生が目が自分に向いていないと「まあ、いっか」となるので、積極的に取り組める気持ちになれる塾が希望でした。

いろんな塾の比較をしてくれた親から、「こんないい塾があるよ」とグノのことを教えてもらいました。

高1の春期講習で英語を受けてみたら、少人数で、先生も名前を一瞬で覚えてくれて、「自分に合った塾だ」と思いました。

**Y.Y.:** 僕は中2の春に入りました。中1の頃は英語が全くできなくて、赤点を取ることもあって大変でした。

塾探しをしてくれた親が「グノはいい塾だ」とどこかから聞いてきて入塾しました。僕自身としては最初「塾に行きたくない」と思っていたのですが、入ってみたら楽しかったのでそのまま通いました。

文法の説明がわかりやすくて、文法がわかってきたら英語がどんどん楽しくなってきた、高校に進学してからもずっと楽しく続けられました。

### グノーブルに向かう時

**小谷:** 英数は高1から、物理は高3から通いました。いつもグノの日になると、塾へ向かう時は「よし、やるぞ!」という気持ちでした。

授業がかっちりした感じではなく、先生はフレンドリーで、いわゆる塾の先生というより家庭教師に近い距離感がありました。

**川上:** 僕の中では「グノの授業に前向きに参加すること」が大事だったので、毎回、「先生の投げかけにどう答えるか?」「理解が不十分なところは?」などと集中することに重点を置いてグノに通っていました。

「先週は良い質問ができたな」と

思った次の週は、特にワクワクしながらグノに向かえました。感情の起伏を生んでくれる授業はつまらないわけがなく、面白い授業ばかりでした。

集中できる授業が、グノにはいつも用意されていたので毎回楽しみでした。

**大場:** 僕の場合は、楽しいとは別の感情でした。

グノの授業は最初に演習から始まって、その答案をすぐに添削してもらえるので、「高い点数を取ってやろう」「いいコメントを先生からもらおうぞ」と常にやる気を持って授業に臨んでいました。

長い授業後には心地良い達成感を得ていました。

### 学校でのグノーブルの話

**大場:** 学校でもグノのことは話題になっていました。

グノには個性的な先生が多いので、勉強の話というより、先生の面白エピソードが話題になりました。いろんなクラスの人がいって盛り上がっていました。

**川上:** 僕は顔が広いわけではないですが、受験期になって「英語の塾に通いたい」という友達には、僕は「グノーブル好き」アピールをしてい



川上 健さん (理I・海城)



小谷 梨歌さん (理I・豊島岡女子学園)

ました。「グノーブルはどのなの？」と聞かれた時には、授業に積極的に参加するのが好きな人には合う、そういうのが好きではない人には合わない可能性があるかと答えていました。

でも、どんな人にとっても自分一人では得られないプラスαをグノで得られることは確実なので、そこは強調していました。

**小谷:** 私は、「グノーブルなの？」と声をかけられたことがきっかけで、学校の他のグノーブル生と仲良くなっていきました。

グノでクラスが違う人と情報交換をしたり、同じクラスの人と「先週の先生は……」と面白かった話を一緒に振り返ったりしていました。

**Y.Y.:** 僕の学校にはグノーブル生が多くて、みんなで先生のものまねをしていました。

クラスが別の人と他の先生のことを話すのも面白かったです。

同じクラスの友達には授業内容の質問をすることもありました。

グノでは英単語の語源を大切にするので、その影響で、学校でわからない単語が出てきた時、「この語源って何だろう？」と友達とクイズをして、辞書で確認して「当たったー！」と盛り上がりたりもしました。

## グノーブルの英語

**Y.Y.:** 中学で入塾した頃は学校での英語は赤点を取ってしまうぐらいでしたが、グノに入ってから実感としても実際の成績も伸びました。

グノで「英文を前から読めるようにしましょう」と言われ続けているうちに、ふと気づいたら前から読めるようになっていて、読むスピードも上がっていました。

復習している時に、冷静に考えてみたら「前から英語のまま読めるようになっていて！」と気づいて、その頃から英語に自信を持てるようになりました。

授業にも復習にも、やる気がわいて集中できたのも大きかったです。

グノでは、先生が過去問をそのまま教材として持ってくるのではなく、新聞記事や書籍などいろんなジャンルから題材を選んでくれるので、いわゆる本物の英語を味わえます。興味を持てる教材でいつも勉強できるという点は、他の塾と比べてもグノの大きな魅力だと思います。

**小谷:** すごく伸びました、というより安定しました。

グノに入るまで学校のテストでは、点数が必ずしもいいわけではありませんでした。学校では、文法的な知識や語彙の暗記力が問われがちだったからです。

でも、グノの入塾テストを受けたらαクラス\*でした。グノのテストでは、英語がしっかり読めて書けるかが問われており、それが自分に合っていてうれしかったです。

グノの英語は、受験にとらわれない言語の本質的なことを教えてくれるので、言語力そのものを身につけられました。

**川上:** 英語の勉強は、「受験で役立つのか」「今後役立つのか」という2点で考える必要があると思います。

グノの英語は受験にも間違いなく

役立ちましたが、グノで英語の授業を受けられたことは、将来を考えても大きなアドバンテージになったと思っています。

特に利点を享受できたのは、英語の学習を日常の習慣に組み込んだことです。

グノは聞き取りや音読を重視する方針です。生活のリズムの中で「音読をここに入れる」といったことを習慣化していました。

英語に触れる習慣を確立できたので、それが当たり前のものになりました。英語の勉強のために机に向かって長時間費やすのではなく、毎日英語に触れる習慣の確立は、将来的にも大きなメリットでした。

**大場:** もともと英語は得意で、中3で英検準1級を取りましたが、フィーリングでやっていた勉強方法は確立していませんでした。文法もきちんと理解していなくてゴチャゴチャだったので、学校のテストは点数が悪かったです。英検もたまたま受かったただけでした。

グノに入ってから、文法をしっかり理解できて英語の体系が自分の中に根づいた感じでした。

## 音読の効果

**大場:** 特にグノの音読は役に立ちました。その週の授業で学んだ内容を1週間で2周することを目標に音読していました。

僕の中で英語がいつ伸びたかはわかりませんが、気づいたら、正確に深く読む力もついていまして、英文を前から英語のまま解釈できるようになって読むスピードも上がっていました。

グノの英語は「使える英語」です。高1の体験留学でカナダに行った時にできた友達と今でも交流がありますが、彼らと話す時のアウトプットのスピードが、グノに高2で入り直

してから大きく変わった実感があります。

**川上:** 音読は間違いなく有意義です。五感を使うから刺激になるのだと思います。

自分が実感したのは、音読しながら文章の内容を意識していくのは、最初は思いのほか難しく、工夫しないと達成できないということです。自分では読んでいるつもりでも内容が頭に入っていないことがあって、その中で試行錯誤しました。

音読しながら文章の内容を理解できるなら、その文章は完全に理解していることとなります。そうなった時、「文章が自分になじんでいる」という実感を得られて自信につながりました。

この音読の経験は、今後英語を使って複雑なことを伝えていく機会がある時、頭の中で整理しながら喋るのに役立つはずですよ。

**Y.Y.:** 授業が終わったあとは毎回、授業で言われたことを思い出しながら音読していましたが、音読することで、丁寧に読めたと、理解できていなかったところが見つかることもありました。

音読するようになってから、読みが深くなったし、読む速度も上がったと思います。

**小谷:** 黙読だと読み飛ばしてしまう



Y.Y.さん (理I・駒場東邦)

ことも結構あります。大事な情報しか見えない感じです。

一方、音読はインプットとアウトプットを同時にするという高度な技術です。アウトプットの段階でお経読みになってしまうところに気づけるので、音読すると本当には理解できていなかったところがあぶり出されます。

## グノーブルの英文教材

**小谷:** グノの英語の教材は読み物として自分の糧になるものが多いのが特徴です。先生が英文の背景的な知識をエピソードも交えて話して下さって、英文の理解が深まっただけでなく、自分の成長にもつながりました。

専門的な内容の文章を英語で読むと、日本語で読むよりもワクワクして読めるとも感じていました。

**川上:** 同感です。グノの教材は、受験において実用的なことと、自分の成長につながるこの両方を満たしていました。

受験において実用的な点では、いろんな分野の導入になる教材が多くて、大学受験では英作文を書く時に応用できました。グノの教材を音読の復習によって英語のまま定着させているので、英語で書いていく時にも楽に応用できました。

自分の成長という点では、題材が多岐にわたっていたので、好奇心が刺激されているいろいろなものに興味をわくようになりました。それは、何かに対する自分の考えを形成していく上で役に立っています。

例えば、老人学についての文章を学んだあと、自分の祖父への普通の接し方が変わって、祖父と話す機会が増えたりもしました。

こういうきっかけをくれる英文にたくさん出会えました。



大場 健斗さん (理I・暁星)

## 単語帳では培いきにくい語彙力

**大場:** 受験に必要とされる能力を培うのにグノの教材だけで十分だったので、「グノに全面的に任せていればいい」と思えたのは大きかったです。

実際、受験勉強としてグノ以外の英語教材をやったことがありません。単語帳もやりませんでした。音読しながら単語を身につけていって、模試で「身につけているな」と実感できたこともあり、逆に「単語帳はやってないのに！」と自信につながりました。

生き生きと英単語を身につけていく上で英語と日本語の対応表を暗記するやり方が効果的でないのは、授業でも先生がよく話してくれました。

「ほぼすべての英単語と日本語は意味の概念がずれている」とおっしゃっていて、今では本当にそのとおりだと思っています。

**川上:** グノの単語帳を使わないという斬新で面白い方針は将来のためになったと思っています。

「単語帳とは何か？」と考えると、英語の語彙の中から大学受験に必要な十分と思われる単語だけを集めてきて、それらをまとめたものにすぎません。しかも、それぞれの単語の意味も大学受験に必要なものに限られます。だから、単語帳の到達地点は大学受験に絞られてしまいます。

一方、グノのように、語源からそ

\*当時の通常授業は、α(最上位)、α1、α2、α3、α4の設定。



川上 健さん (理I・海城)

の単語の豊かな意味をつかんだり、実際の英文の中で生き生きと単語の意味をつかんでいけば、どんどん英語の語彙と親しくなっていけます。知らない単語と出会っても推測力が働きます。さらに語彙を増やしていく、専門用語も自分のものにしていく必要性を考えると、グノの方針は将来にもすぐ生きてくると思えます。

**Y.Y.:** 僕は、一時不安になって単語帳を使っていたのですが、途中で手放しました。グノの英文を復習したほうが、単語を英文の中でつかめて覚えやすかったし、作文の時にも的確に使える語彙になっていったからです。

**小谷:** 私も学校の小テスト以外では単語帳をやりませんでした。

そもそも、グノの最後の授業が終わるまでは、グノの勉強しかやっていませんでした。直前講習が終わってから、過去問を解かずに内容だけ読んだくらいです。

### グノーブルの数学

**小谷:** 数学は高1から受講しました。グノというと「英語の塾」のイメージがありますが、私は「数学もすごい」と言いたいです。

グノの英語は、先生と生徒の距離が近かったり、本質を教えてくださいるので、演習をひたすら重ねるのではなく、良い教材をしっかりと味

わって学んでいくスタイルです。

数学もまさにそのとおりで、「グノーブルの数学」とすぐにわかる授業でした。少人数で、「最低限の問題を押さえればあとは応用できる」というのが、授業と宿題からも実感できて、順調に成績を伸ばせました。

理系数学の先生はとてもテンションが高く、初めてこの先生の授業を受けた日から「この先生に数学を習ったら数学を好きになれる」と思えました。解説もわかりやすく、質問もしやすく、楽しく数学を学べました。

文系数学の先生は、なじむにつれて「この先生はなんて素晴らしいんだ！」となって、噛めば噛むほど良さがわかるそんな先生でした。私の数学の基礎はこの先生に養っていただきました。

セルフチェックシート\*は、「これなしでは私の数学は伸びなかった」というくらい重要なものでした。

普通に問題を解くだけだと、丸つけて解説を読んで終わりです。

一方、セルフチェックシートに記入すると、「この問題は何を問いたいか？」とか「他の解き方はないか？」と考えられます。先生たちはこのシートすべてに目を通してくださって、コメントもつけてくださるので、「この解き方は納得いかない」と書いて先生に直談判することもできました(笑)。それに対しても先生はたくさん返事を書いてくださいました。

先生のコメントはいつも楽しみでした。「授業では言わなかったけれど……」というのも書いてくださったりして、やりがいのあるチェックシートでした。

### グノーブルの物理

**小谷:** 高3の1年間は物理も受講し

ていました。表面的な解説にとどまらない物理にもグノーブルらしさがありました。

ある定義ができあがった歴史的経緯から先生の話は始まって、実際に解いてみて「このやり方はちょっと矛盾が生じるね」というのも見せてくださったり、物理自体に対する興味がどんどん引き出されていきました。

東大の物理では、思考力を問う問題が出ると思います。「先生がおっしゃっていたあの考え方をすればいい」と、根本的な点がすぐにひらめくようになるグノの物理は、東大対策としても本当に素晴らしい授業でした。

### グノーブルの先生

**大場:** とにかく個性的な先生方が、「君たちに本当の英語の力を授けてあげよう」と熱意を持って授業をしてくださるので、グノの授業では退屈することがありませんでした。

先生はすぐに僕たちの名前を覚えてくださるし、授業は生徒と先生のやりとりで進むので、「良い先生方だな」と思っていましたし、「期待に応えていきたい」という気持ちにもなりました。

**川上:** 授業の雰囲気づくりをしていただけて、英語を勉強する環境としてもとても良かったです。

雑談も、英語の文章に関連する事



小谷 梨歌さん (理I・豊島岡女子学園)

柄や、そこからの先生の経験談や小ネタ満載の面白いものでした。

**Y.Y.:** 確かに、英文にまつわる話は面白かったです。演習の段階では内容がよく理解できない時も、先生の解説を聞いていると、「そういうことか」「こういうこともあるんだ」と引き込まれていきました。

僕は5年間習いましたが、どの先生にも言えるのは、距離が近かったことです。グノに共通の方針とか授業の型式はありましたが、それぞれの先生が独特の個性と雰囲気を持っていて魅力的でした。

**小谷:** グノではどの科目のどの先生も授業を楽しんでいらっしゃいました。先生が楽しい授業は生徒も楽しくなります。

### グノーブルの環境

**Y.Y.:** 振替ができるシステムが一番大きかったです。講習も細かく振り替えられて助かりました。他の塾は振替が無理だったので休むしかないこともありました。グノはほとんど通えました。

**小谷:** 私はグノの自習室に毎日通っていました。その時に自習室を開けてくれた受付の人が本当にやさしい対応をしてくれました。

塾によっては電話をかけると、私が学生だからか、冷たいと感じられる対応をされることもありましたが、グノではそういうことが一度もなかっただけでなく、顔や名前も覚えてくれました。他の人にグノを勧める時、「グノは受付もめっちゃいいよ」と強調しました。

### 後輩へのアドバイス

**大場:** グノから課せられたことを完璧にこなしていれば確実に十分な力がつきます。不安になって自己流で勝手なことをするよりも、まずは先

生に言われたことを自分が完璧にこなしているかを振り返ることが重要です。グノに任せておけば大丈夫です。

**川上:** アドバイスはふたつあります。ひとつは、何に関してもそうだと思いますが、目標に対する勉強の進め方を一貫して保つことが大切です。

そういう意味で、グノの方針は無理がなく、確実に志望校に手が届くので、信じてついていけば合格に近づきます。

もうひとつは、グノの授業にエネルギーをつぎ込んでほしいということです。「授業内に絶対に理解する」という姿勢は早いうちから守っておいたほうがいいです。

グノの授業は濃密ですが、とにかく授業中は集中しましょう。

**小谷:** 受験勉強を長い間やっていると、どうしても他人と比較してしまいます。「この塾で大丈夫か?」「この勉強法で大丈夫か?」と思うこともあると思います。

でも、グノは本当に信頼できる塾です。グノで素直に学ぶのが合格への近道です。

**Y.Y.:** グノの勉強についていって復習すれば、東大合格に十分な英語力が身につきます。グノの勉強を土台にし、最後に形式慣れ程度に過去問を見ておけば、英語に関してはどこの大学でも大丈夫だと思います。



Y.Y.さん (理I・駒場東邦)

\*セルフチェックシート：高2文系数学、高3数学で生徒自身が宿題終了後に記入するシート。解けた問題には「どう解いたか」、解けなかった問題には「何ができなかったか」などを記入。自分の傾向や理解度を分析して客観視し、次のステップへとつなげるグノーブル独自のツール。担当講師が目を通しコメントをつけて返却しています。

# 東京大学 理系 Part 3

江口 稜馬さん (理I・駒場東邦)

金井 皓太郎さん (理I・麻布)

笹田 陽太さん (理I・開成)

学校行事で塾に行けない時、振替ができるとありがたかったです。  
振替で先生がいつもと違うことがあっても、授業はいつもと同じで質が高いままなので、その点が良かったです。

笹田 陽太さん (理I・開成)



江口 稜馬さん (理I・駒場東邦)

## 自粛期間中について

**江口**：塾や学校に行けなくて、友達と会う機会もなくなり、いつも以上にSNSや電話で友達と連絡を取り合いました。

勉強面ではペースを自分でつくっていかなければならなかったのですが、その日にやらなければならないことを、「どの勉強を何時までやる」というルーティンになるようにいつもより細かく計画を立てました。

一方で、散歩などをして、ストレスをためないように工夫しました。

**金井**：僕の場合、ルーティンをつく

るのは同じでしたが、計画を立てられない性格なので、大まかなリズムをつくって生活していました。

何曜日にオンラインで配信された映像授業を見て、翌日にはその復習をする、といった時間割のようなものを曜日によって決めましたが、時間ごとに決めただけではありません。

僕は朝起きるのがつらいので、学校が休校になって1限に出なくて済むのがうれしかったです。

**笹田**：塾や学校の映像授業をペースメーカーにしつつ、1週間に1回計画を立てました。でも、大体は計画どおりにいかないので、週の終わりに修正していました。

一番つらかったのは、開成の一大イベントである運動会がなくなったことです。精神的にダメージを受けて、2週間くらい何もできない時期がありました。

**江口**：駒東でも体育祭がなくなってしまったです。みんなつらそうで、「勉強どころじゃない」という人たちもいっぱいいました。

**金井**：僕はあまりそういうのがありませんでした。むしろ、授業がなく、出席のしがらみもなくなって、その解放感に浸っていました。

**江口**：映像授業と対面授業の差は強く感じました。僕は対面のほうが良かったです。

グノの授業は先生とのコミュニケーションが醍醐味だったのに、それが失われて、ずっと画面に向かってるのがつらかったです。

ただ、映像授業では、聞き直しや見直しのできたので、解説の細かなところまで注意を向けられるという利点もありました。

**金井**：僕は映像授業が大嫌いでした。とにかく対面のほうが良かったです。いつも一番前の席で授業を受けていて、それが楽しかったからです。

**笹田**：グノの授業は、指名されたり発言したりすることで理解が深まります。映像授業ではそれがなくなつてつらかったです。

## グノーブルに入ったきっかけ

**笹田**：部活の先輩からの勧めがきっかけで、中2の4月に英語で入りました。

他塾も検討しましたが、グノは他塾よりも暗記偏重でなく、「グノのほうが楽しいかな?」と思ったのが決め手でした。



金井 皓太郎さん (理I・麻布)

**金井**：中1の夏期講習で英語を受講して、そのままずっと通いました。他校の友人の先輩がグノに通っていて、評判が伝わってきたのがきっかけです。

講習の初日から授業を気に入りました。その場でプリントが配られて、演習したらすぐに解説を受けられる形式が自分に合っていました。

文法も「覚えておこう」ではなく、英語の特徴から説明されたので、とてもわかりやすかったのを覚えています。

**江口**：僕が入ったのは高1の秋です。駒東では「英語はグノ」という流れがあって、それが一番大きかったです。

「他塾も体験して考えてみよう」と思っていたのですが、グノの授業を受けた時に感覚的に「これは楽しい」と思い、すぐに入塾を決めました。

## グノーブルの英語

**笹田**：グノに入る前と入った後で、英語に対する意識が大きく変わりました。

以前は、英語の勉強というと、文法事項や単語の暗記ばかりで退屈だったので英語は好きではありませ

んでした。

グノに入ってから、中学生としては結構難しいことも教えてもらいましたが、単なる暗記ではなくて単語の成り立ちから教えてもらったので、面白く、英語という言葉に興味を持てるようになりました。

**江口**：英語はもともと好きで、不得意ではありませんでしたが、入塾直後から英語の成績が目に見えて上がりました。

理由をひとつに絞るのは難しいですが、一番大きいのは楽しく勉強できたので、英語をさらに好きになれたことだと思います。点数を取るための授業というよりも、英語の本質を教えてくれる授業で、ナーバスにならずに英語を楽しめました。

グノの授業で与えられたものにきちんと取り組み、先生が教えてくださる復習の方法を徹底していたら、英語の力がどんどん身についてくるのを実感できました。

**金井**：僕はそんなに英語が得意ではありませんでした。でも、グノに通っているうちに「英語ができる」という自信ができましたし、自然とテストの点数も上がっていきました。

グノの授業では、周りの人からいろんな影響を受けられるので、それが大きかったと思います。先生と生徒がやりとりしながら進んでいくのがグノの授業の特長ですが、自分には理解できなかった英文をさらっと解釈できている人がいたり、「こんなことも知っているんだ」と思える人の発言には、毎回「すごいな」と思って刺激を受けていました。

**笹田**：グノの場合、先生と触れ合う機会を持てるのが印象的でした。

毎回の添削では生徒一人ひとりの答案を見てくれるし、解説の時も、先生と生徒のやりとりで進むので、先生はいつもこちらの反応を見てください。

グノの授業はレベルが高くて、密度も濃いのですが、先生が生徒のことをよく理解してくれているから成り立っていると思います。

僕も、授業中に当てられることで成長を実感できましたし、授業が終わってからも質問しやすく、先生との距離が近いのは他塾とは違った環境でした。

中学生の頃の僕は真面目ではありませんでしたが、授業の時だけは真剣になって、特に文法をきちんと習得してきました。その文法が底力となって、その後の僕の英語を支えてくれました。

**金井**：中学生の時にグノで英文法を教えてもらったので、英文法の感覚をつかめるようになりました。

その感覚を踏まえて、高校生の時は興味を持てる英文を読んでいけたので、取り組みやすかったです。

英語が読めるようになったので、「英語は難しい」というイメージが取り払われて、英語を楽しめるようになりました。

グノに中1から通うのと、高校から通うのとでは、大きな違いがあると思います。受験勉強は受験前の1年で済ませるものになりがちですが、グノはそういう短期的なスパンではなく、一生続く学びのための長期的



笹田 陽太さん (理I・開成)

なスパンを意識した授業が行われます。中学生のうちから通ったほうが、受験勉強とは違う英語の本質により触れられると思います。

### 音読の効果

**笹田**：それから、グノの大きな特長は、復習の中心が音読だということです。音読のおかげで、授業で教わった文法や単語など、いろんなものを一気に復習できました。

先生に言われたとおり、音読は知識が定着しやすく、一番手っ取り早い復習方法でした。ひとつの英文を読むのは3分くらいしかかかりませんが、それを3、4回繰り返すと、知識面についてはほとんど身につきました。本当に効率がいい復習法でした。

**金井**：僕も音読をやっていました。音読は知識の定着にも効果的でしたが、音読で、英語の語順のまま解釈していくのにも慣れましたし、内容を深く理解するのにも役立ちました。

授業で配られたサミングアップ\*を最初に読んで要約する時は、文章を初めて見るので受動的です。その英文の解説を聞いて、復習で音読する時は、受動的ではなく能動的にその文章を読み上げるので、理解が深まって文章の内容も定着します。

**江口**：僕も音読は欠かしませんでした。先生がおっしゃっていたように、英語でプレゼンをしているつもりで、大事なところや筆者が言いたいところを意識していました。

英語の感覚を鍛えたり、維持したりするのに、音読はとても効果的でした。英文を日本語に訳していく復習とは全然効果が違ったと思います。

何日か音読しない日が続くと、「スラスラ読めないな」と思うことがあって、音読を継続することの大切さを実感していました。

### グノーブルの英文教材

**笹田**：一番良かったのは、教材がテスト対策っぽい感じではなくて、英語力そのものをつけるためのものだったことです。

そうはいつても、要約や段落整理、英作文など、実は東大受験の対策にもなっていました。

興味を維持できる教材が、いつの間にか東大対策にもなっていたので、東大を目指せたのだと思います。

**金井**：グノの教材は、東大の英語の問題をさらに難しくしたようなレベルでした。これに取り組み続けたおかげで、東大の本番が楽だと思えたほどです。

「自分はこんなに難しいことをやっているのだから、東大は大丈夫だろう」という自信が普段から持っていました。

ただ、難しいとはいつても、わからなさすぎるわけではなく、少し背伸びをすれば理解できるので、成長が実感できる教材でした。

**江口**：授業中に配布されるプリントは難しく、演習をしている時にはボンヤリとしか読めないこともありましたが、

でも、先生の解説を聞いて、復習や音読を重ねることで、「これはこういうことか!」と納得できる瞬間が訪れるので、その感覚が楽しかったです。



江口 稜馬さん (理I・駒場東邦)

授業で完全に理解できなくても、先生の解説をメモして、家で復習することが大切です。

### 英単語の覚え方

**江口**：グノの英語は、単語を語源から教えてくれるのも特長です。

語源を踏まえて単語を見たことはなかったのですが、入塾した当初は「何だ、これ!」と思いましたが、グノの解説に慣れるうちに、単語がスッと頭に入ってくるようになりました。日本語に頼らなくても、単語がイメージとして入ってくる感じです。

グノの方針に従って、単語帳は使いませんでした。嫌な言い方になってしまっていますが、単語帳をやっている人たちよりも自分は点数を取っていたので、単語帳をやらぬことに不安はありませんでした。

**金井**：「みんなが単語帳をやっているから、自分もやってみよう」と思った時期がありました。でも、グノの教材を使ったほうが、的確に意味が取れるし、単語の知識を深く詳しく学べるので、単語帳はいらないのだとすぐにわかりました。それからは、単語帳反対派になりました。

**笹田**：グノに通っていると、語幹や接頭辞などに詳しくなります。先生が黒板に絵を描いたり、実際にやってみせてくれたりしたので、単語のイメージにもなじめました。

よく先生が、「英語と日本語の単語はぴったり一致することはほとんどない」とおっしゃっていましたし、英単語を日本語の訳で覚えているとネイティブの感覚には近づけないと思います。

一応単語帳は使いましたが、確認程度に使っていただけで、グノの英文の復習をメインにしていました。

### 授業の楽しさ

**江口**：グノに通っているととにかく楽しかったです。いろんな分野の文章をたくさん扱ってくれて、飽きることなく続けられました。勉強という感じがなく、「今日は何の文章を読めるんだろう?」とワクワクしながら塾に通いました。

授業時間の延長もうれしかったです。授業が終わった後の達成感がたまりませんでした。高3では読解と英作文の2コマ連続でしたが、頑張ってくださいている先生の姿を見ると、時間の長さは苦になりませんでした。先生の熱が伝わってきて、「自分も頑張らないといけな」と思いました。

**金井**：自分は細かいところに目が向かない性格だったので、細部にも目を向けさせてくれる文法の授業では、自分が段々変わって成長しているのを実感できました。

読解ではいろんな内容の文章を読むので楽しかったです。英語で教養を学んでいるという感じがありました。

それから、一番前に座って授業を受けていると、先生の熱意がひしひしと伝わってきます。そうすると、「自分も頑張ろう」という気持ちになって授業に集中できました。

**笹田**：グノの授業は内容が濃く、受け身で聞いているのではなく、頭をフル回転させて参加しているので、授業後に達成感と心地良い疲労感を得られます。英語を学べただけでなく、いろいろな面で満足できる授業でした。

グノの授業では当てられますが、それでドキドキすることはありませんでした。あまり的確に答えられなくても気にせず、間違いも前向きに捉えていました。

**金井**：僕は自分の答えを言いたくて



金井 皓太郎さん (理I・麻布)

仕方なかったのも、もっと当ててほしかったです。

**江口**：僕も同じでどんどん当ててほしかったです。ちょっと難しい質問に答えられた時は「よっしゃ!」となりました。

**笹田**：予習前提ではなく教室内で真剣に演習を行えるのも貴重でした。達成感を味わえる授業の後では、復習に懸命になれました。

**金井**：予習ではなく復習メインなのは僕にも合っていました。授業が演習からスタートすると、すぐに集中できるし、演習直後に始まる解説も真剣に聞けます。

次の授業に真剣に取り組むようになるので、ダメだったところや新しく知った知識などを復習するのも身が入りました。

**笹田**：それにつけ加えると、音声教材(GSL\*)が豊富だったのもグノの強みだと思います。疲れた時に音声流して、あまり考えずに英語を追うだけでも、自然と耳を英語に慣らすことができました。グノの音声教材は良質でした。

### グノーブルの先生

**笹田**：授業への熱意と生徒への気の配り方がすごかったです。先生方の熱意が自分の勉強への熱意にも火をつけてくれたと思っています。

指名でも、自分がわからないとこ

ろを当ててくださったので、「自分のことをわかってもらえている」と思え、それがやる気につながりました。

**金井**：僕にとっては添削での先生のコメントが大きかったです。「ねばり強く頑張らなようしよう」と思っています。お褒めの言葉がある時には、本当にうれしくなりました。

授業中の先生とのやりとりからも、やる気や反省の気持ちを強く感じていました。

先生方は本当に知識が豊富なので、自分には気づけない点への指摘もたくさん受けられて、そんな先生の姿を見て、「自分もその域に達したい」と憧れました。

**江口**：授業中の会話だけでなく、授業後にも先生と話せるのがうれしかったです。先生は、質問だけでなく、ちょっとした雑談にも付き合ってください、僕たちのことを知ろうとしてくださるのがとてもうれしかったです。先生への強い信頼感が生まれました。

### グノーブルの環境

**江口**：グノは小さめの教室が多いので、その分、クラスが全員参加の雰囲気になっていました。熱意を持って授業に臨んでいたのも、とても良かったと思います。

**金井**：こういう教室だからこそ、授業で生徒と先生の濃密なやりとりが実現しているのだと思いました。他の人が当てられた時、自分も当てられたつもりになって心の中で答えるというのがモチベーションになりました。集中力を維持できる双方向授業にぴったりな教室です。

**笹田**：学校行事で塾に行けない時、振替ができる場所がありがたかっ

\* SUMMING-UP LABORATORY：高3の英語(読解)で毎回実施される英文の要約演習。生徒一人ひとりの答案を担当講師が添削・採点して返却。音声教材も完備。知的にレベルの高い「読解力」の土台を築けるばかりではなく、「聴解力」「作文力」「話す力」や「プレゼン力」も鍛えるグノーブル独自の仕組みです。

\* Gnable Sound Laboratory：中1から高3までの6学年すべてに毎週用意されているオリジナル英語音声教材。合理的練習法(ワークアウト)も確立されており、英語が得意なグノーブル生の土台を築いています。

## 15期生 合格者インタビュー

たです。振替で先生がいつもと違うことがあっても、授業はいつもと同じで質が高いままなので、その点が良かったです。

### 後輩へのアドバイス

**笹田**：まずはグノの授業を集中して受けること。それから授業後には毎日、1日20分くらい音読することを継続してください。

**金井**：グノの授業は1回完結型です。その分延長はありますが、復習しやすくなるという大きなメリットがあります。

「授業に出席して演習、解説を聞いて理解、その後復習」というサイクルをうまく繰り返しましょう。それで問題なく東大に受かるだけの力がつくと思います。

グノで学んだことをしっかり復習していくと、絶対に力もついて、それが自信にもなります。グノを信じてください。

**江口**：僕も同じです。先生から言われたことにきちんと取り組んでください。

困ったことがあったら、先生に相談しましょう。理解できていないところは質問しましょう。最初は緊張すると思いますが、メールでも対応していただけるので、先生を信頼して頼ることが大切です。



笹田 陽太さん (理I・開成)

## 15期生 合格者インタビュー

# 国立大学

# 医学部

### 【座談会出席者】 (五十音順、本文中敬称略)



あら た たか き  
荒田 峻希さん  
(北海道大・駒場東邦)



いのうえ たく み  
井上 拓海さん  
(東京医科歯科大・駒場東邦)



さとう かず ま  
佐藤 一舞さん  
(東北大・世田谷学園)

# 国立大学 医学部

あらた たかき  
荒田 峻希さん (北海道大・駒場東邦)

いのうえ たくみ  
井上 拓海さん (東京医科歯科大・駒場東邦)

さとう かずま  
佐藤 一舞さん (東北大・世田谷学園)

英語はグノから毎回良質な教材が提供されるので、その復習をすれば十分です。数学もグノを信じて絶対大丈夫です。典型的なパターンを通して受験の数学が体系化されるので、とにかくその教材を復習すれば相当な力が身につきます。

英語にしても数学にしても、グノでは復習がとても大切です。

佐藤 一舞さん (東北大・世田谷学園)

## 自粛期間中について

佐藤：4月と5月は学校も休校だったので、グノの映像授業を勉強のペースメーカーにして、何とか受験勉強をしていました。

グノの映像授業はとても充実していて、メールを使って添削も毎週してもらえたので、僕も「これについていけば大丈夫」と思い勉強に力を入れていました。

僕の場合、後半も映像授業を利用



荒田 峻希さん (北海道大・駒場東邦)

することが多かったのは、先生の熱意が画面越しでも伝わってきたからです。聞き逃しても前に戻れたのも便利でした。

もちろん、生の授業は緊張して受けられるメリットがあって、映像と生のどちらにも捨てがたい良さがありました。

井上：4月と5月は、友達とLINEで通話して勉強のモチベーションを保ったり、精神面を安定させたりしていました。

僕は対面授業の緊張感が好きだったので、休講期間が終わってからはすぐに通塾に切り替えました。マスクをしている以外は普段と変わらない感じだったので、特に何か不便を感じたことはありませんでした。

荒田：僕も、自粛期間中1日1回はLINE通話で友達と話していました。勉強面では、結構サボるほうなので、グノの映像授業と添削課題の提出を大切にしていました。

休講期間中でも、グノの映像授業はとても充実していました。いつも情報が多くて、理解しながら書き写

すのはなかなか大変でしたが、映像授業の場合は止められるし、自習の時間が増えた状況だったので、充実した映像授業を提供していただけたのはありがたかったです。

## 医学部志望の動機

荒田：もともと両親が医者で、小さい頃から医者になることを意識していました。高校で進路を決める時は他の仕事もいろいろ考えました。

結局、人助けになる仕事で、かつ頭を使う仕事をと考え、「医者になる」という結論に至りました。医師免許を取ったら、その先についてはあとから考えても良いと思っています。

医者になることに関して、両親からのプレッシャーはありませんでした。勧められたことも全くありません。僕は3人兄弟で、兄と姉もいますが、ふたりとも文系の学部に進学しています。

井上：医学部に入ろうと決めたのは高3の秋です。「懸命にコロナと闘っ



井上 拓海さん (東京医科歯科大・駒場東邦)

ている医師の姿はカッコいい」と純粋に思えたのがきっかけです。

佐藤：僕の場合、中2の時の祖父の闘病がきっかけです。祖父を診てくださった担当医の姿に、「医師の責任は重い」と感じましたが、同時に「重い責任を担うことになって人々の健康を支えたい」とも思いました。

## グノーブルに入ったきっかけ

佐藤：中2の春に入塾しました。

周りの友達がグノに通っていたので、一緒に英語の講習を受けました。他塾とも比べましたが、グノの授業が一番気に入ったのと、グノに通っている人の英語力が伸びているのを見ていたので、「ここなら自分も伸びる」と確信しました。

荒田：僕は高1の夏からです。

部活の友達が多くが高校進学後に塾に入って、中でもグノに入る人がたくさんいました。先輩にもいろんな話を聞いた上で、「英語はグノがいいかな」と思いました。駒東では、「英語といえばグノーブル」というイメージがあります。

井上：グノに入ったのは高2になる前くらいです。

グノに通っている友達が楽しそうに英語を勉強していて、そこに魅力

を感じました。荒田君の言うとおりに、「英語といえばグノーブル」というイメージがありましたし、実際にグノに通っている人は英語の成績が良かったです。

## 学校でのグノーブルの話題

佐藤：要約\*が難しかった週は、よく友達とそれについて話題にしていました。わからないところがあった時など、グノーブル生がお互いに教え合うこともよくありました。

井上：駒東ではグノの先生のまねが流行っていました(笑)。グノに通う友達同士で要約のこともよく話題になっていましたし、興味深い英文の内容で盛り上がることもよくありました。

荒田：確かにグノの先生のまねをする人が多かったです(笑)。

それに、グノの英語に通っている人たちは、みんなグノの授業を楽しんでいたし、演習にも真剣に取り組んでいた。グノで読んだ英文のことや授業のことが共通の話題になっていました。

学校で扱う英文がグノの英文と関連していることに気づいた時には、「この話はグノで扱ったのとつながっているね」「このテーマは前にグノでやったよね」と盛り上がっていました。

## 英語力の伸びと音読

荒田：もともと英語は得意でしたが、グノに入ってさらに伸ばせました。

伸ばせた理由のひとつは、グノで触れる英文が豊富だということです。高3の授業では1回の授業で3つとか、4つくらいの英文に触れられます。学校の場合、1回の定期テストまでで、多くても3つの英文しか扱わないのと比べると格段の差です。

グノの宿題の中心は、扱った英文を体に染み込ませるぐらいに読み込むことです。この習慣で読むスピードは飛躍的に上がりました。入試の過去問を読む時も、英語は時間配分に余裕を持って取り組みました。

井上：僕の場合は、英語は特に得意な科目ではなかったのですが、グノに入ってから成績が上がり始め、受験期には得点源になっていました。

読むスピードが上がると、より深く内容を理解することに頭を使えます。

特に医科歯科大の英語の問題文は長いので速読力は大切です。

佐藤：僕は中2からグノに通っていたので、英語は比較的得意でした。

毎週あの量を読むのは学校ではできないことで、グノのおかげで長文に対する耐性がつき、中学の頃から英語が得点源でした。

大学受験が近づいてきた時は、勉強への集中力も上がっていたので、さらに英語力が伸びていると感じていました。

復習では、1日に1時間くらいかけて音読していました。音読は返り読みができないので、英語のまま読んでいく力をどんどん鍛えられます。

荒田：僕の復習方法も音読でした。始めたのは高2の秋ぐらいからの



佐藤 一舞さん (東北大・世田谷学園)

\* SUMMING-UP LABORATORY：高3の英語（読解）で毎回実施される英文の要約演習。生徒一人ひとりの答案を担当講師が添削・採点して返却。音声教材も完備。知的にレベルの高い「読解力」の土台を築けるばかりではなく、「聴解力」「作文力」「話す力」や「プレゼン力」も鍛えられるグノーブル独自の仕組みです。



荒田 峻希さん (北海道大・駒場東邦)

で遅めでしたが、それ以降は毎日30分と決めて取り組んでいました。

受験期には他科目の勉強を優先せざるをえない日もありましたが、それでも音読しない日が続かないようにしていました。

音読を毎日やっていると一部の英文は覚えてしまいます。また英文のリズムや、英文の組み立てにどんどんなじんでいくと、初見の英文でもスラスラ読めるようになります。難しい言い回しでも、それが頭に入ってしまったら、サラッと読めるようになります。

**井上:** 僕はあまり時間を決めていませんでしたが、自分が好きな時に声に出してグノで扱った英文を読んでいました。日本語に変換しないで、英語のまま解釈していくことを意識していました。

音読の習慣で英語を理解するスピードは格段に上がりました。分量が多くても、共通テストのレベルなら一読ただけで大体頭に入ってくるようになりました。

### グノーブルの英語

**荒田:** 高2までは全然受験を意識していませんでした。週1回楽しいからグノの授業を受けに通うという感じでした。

高3になってからは学校の友達と一緒に通うことが楽しみに加わりま

したが、高1の頃は同じクラスに学校の友達はいませんでした。それでもグノの授業は楽しかったです。

**佐藤:** 高3になってからは、受験を意識するようになったし、毎回の添削での点数も気になりましたが、グノの授業が楽しいというのは中2からずっと変わりありませんでした。それは先生が、受験での点の取り方よりも、扱う英文の楽しさを中心に解説をしてくださっていたからだと思います。英文の背景や周辺の知識を先生が楽しそうに語ってくださったので、こちらも興味を持って聞けました。

グノの授業では、その時、話題になっているニュースもよく教材になっていたの、「英語で社会について知る」という視点が身につきました。

**井上:** グノに入ったのは英語の成績を上げたかったからでした。それが段々、「今日とはどんな新しいことを学べるのかな？」というのが楽しみで通うようになっていきました。

気がついたら、「楽しみながら集中する」という姿勢が僕の中で確立されていました。

高3になって大学受験のことを意識し始めた時にも「集中して自分の頭で考える」という姿勢ができていたので、そんな姿勢で要約に取り組んだり、長くて面白い英文をたくさん読んだりしていました。

入試本番でも同じ姿勢で取り組みました。本番だからという緊張とか苦勞も感じずに、英文の内容をしっかり理解しながら読めました。

**荒田:** グノの授業では、受験に必要な知識だから暗記しなさいと言われることは一切ありません。

例えば単語帳の暗記もありません。グノは新出の英単語があると、すべて語源から解説してくれます。そういう解説は聞いているだけでも興

味深いし、面白いと思えるものは覚えやすくなります。

テストで知らない単語が出てきても、グノで教えてもらった見方をすれば、意味を類推したり、言い換えを見抜きやすかったりします。

中学の時から学校では単語帳をテスト対策として使っていましたが、受験期には単語帳には触れずに、グノの英文を読むだけで英語力を向上させていくことができました。

**井上:** グノに入る前は、英語の勉強のために単語帳を使うのは当然だと思っていました。

グノに入ってからは、その常識が覆り、大学受験を終えるまで単語帳には時間もエネルギーも使わずにすみしました。

**佐藤:** 僕も高3では単語帳を全く使っていませんでした。

### グノーブルの数学

**佐藤:** 数学は高1からです。先生が手書きで書いてくださる解説や解法のプリントがとても見やすく、「グノのプリントじゃないとわからない」くらいの気持ちになりました。

受験に出る数学のパターンもそのプリントにほとんど網羅されていたので、それが軸になって僕の中に数学が体系化されたと思っています。もちろん、本番でも力を発揮できました。

セルフチェックシート\*では、自分ができなかったところを振り返って記入するので、自分のミスも風化させず糧にすることができました。

1回解いてわからなかった問題について、解説を見て終わりにするのではなく、「どうして自分がわからなかったのか？」を分析し、その問題だけでなく他の問題でも応用できるように対策を書いておきます。

こうして書きためたセルフチェッ

クシートは、自分の間違いを振り返る材料になります。

それから、質問を書いて先生に提出すると、丁寧なコメントをつけて返していただけるので、それも励みになりました。

### 医学部の面接

**荒田:** 北大医学部の面接対策はあまりしていませんでした。「対策しよう」とは思っていましたが、他科目の準備もあったので手が回りませんでした。

試験当日、自分の番を待っている間に、自分の考えをいろいろ書き出すという準備をした程度です。

面接官からは調査書に基づいて、部活のこと、学校での人間関係、家族との関係など、たくさん聞かれました。医師としての適性が見られているという感じだったと思います。

**井上:** 医科歯科大では、初めに「1分間の自己紹介をしてください」と言われました。それが終わったあと、面接官3人から、ひとつかふたつ質問されました。

質問内容は「最近の医療問題で気になっていることはありますか？」などです。「こういうことを聞かれる」というのはわかっていたので、あらかじめ考えていましたし、学校の先生に模擬面接をお願いして1回やっていたっていました。でも、



井上 拓海さん (東京医科歯科大・駒場東邦)

あまりガッツリと対策をしていたわけではありませんでした。

**佐藤:** 私立大学の医学部も受けたので、大学ごとに志望動機をまとめたり、自分の趣味などについての質問を想定して回答を用意していました。

東北大は面接点が200点で結構重要ですが、どういうことを聞かれるかは決まっていたのでその準備はしていました。例えば、友人間の問題について話されて「これに対するあなたが考える問題点と解決策を答えなさい」とか、四字熟語が提示されて「これに関してあなたの経験と考えを述べなさい」とかです。

### 後輩へのアドバイス

**荒田:** 難関大学を目指す人たちは、受験期に入る時には英語の力が完成に近い人も多くはいます。そういう人が「英語の力を維持したい」とか、「さらに英語の力を伸ばしたい」と思うならグノが最適です。

グノでは1週間に1回でも、結構な量の英文に触れられるし、充実した解説を聞けるので、「グノの授業と教材だけをやっていれば英語は大丈夫」という安心感が持てます。

僕も、学校でいろいろ教材を配られました。それらに触れなくても受験を突破できました。グノで英語力を培ってきた人は、英語はグノに絞って、別の教材をやる時間を他の科目に充てたほうが良いと思います。

**井上:** 受験ではとにかく英語と数学が重要でした。

英語に関しては、グノの授業をしっかりと理解した上で、ノートを見直して必要な知識を身につけ、音読を1年間ずっと続けていけば、本当に十分な力がつきます。単語帳にも他の問題集にも手を出す必要はありません。徹底的にグノのことだけをやり続けてください。



佐藤 一舞さん (東北大・世田谷学園)

**佐藤:** 同意見です。英語に関してはグノから毎回良質な教材が提供されるので、その復習をすれば十分です。

数学もグノを信じて絶対大丈夫です。典型的なパターンを通して受験の数学が体系化されるので、とにかくその教材を復習すれば相当な力が身につきます。

英語にしても数学にしても、グノでは復習がとても大切です。

\*セルフチェックシート：高2文系数学、高3数学で生徒自身が宿題終了後に記入するシート。解けた問題には「どう解いたか」、解けなかった問題には「何ができなかったか」などを記入。自分の傾向や理解度を分析して客観視し、次のステップへとつなげるグノーブル独自のツール。担当講師が目を通しコメントをつけて返却しています。

# 15期生 合格者の声

## Digest

■大学受験の勉強をするだけじゃつまらないなら、Gnobleに行こう！  
(京都(総合人間)/筑附)

■他の塾では教えて貰えない勉強の取り組み方、問題の考え方を教えて貰え、この先生について行けば大丈夫だと思う先生に出会える塾！  
(筑波(医)/豊島)

■通っていて良かったと心から思える塾です！  
(東京医科(医)/東洋英和)

■受験勉強の概念が変わる塾！毎回の生き生きした授業で好奇心が芽生え、楽しく学ぶことが結果に繋がります!!  
(慶應(文)/白百合)

■決して受け身の授業にならない、先生とのレスポンスが取れる塾！授業があつという間だと思えるほど内容の濃い授業が受けられる塾！  
(北里(薬)/東洋英和)

■他とは比べ物にならないくらい勉強の楽しさを丁寧に教えてくれる塾でした。授業が充実していて、毎回毎回学べるのが山ほどあって、帰り道はいつも幸せな気分でした。  
(慶應(商)/学習院女子)

■英語を楽しく学べて、実力を伸ばすことのできる、最高の塾です！  
(群馬(医)/鷗友)

■先生が一人ひとりをしっかりと見つめてくれて実力が伸びる素晴らしい環境の塾です！  
(筑波(医)/早実)

■母に「日本一の英語の塾があるよ！」と勧められて入塾しました。結果的には英語はもちろん、国語もすごく良かったです。大学生になっても通い続けたいぐらいです！  
(慶應(商)/暁華)

■Gnobleは集団塾ながら、生徒一人ひとりにちゃんと寄り添ってくれます！  
(慶應(法)/桐朋)

■自分から学習に集中しようという気にさせてくれ、そして温かく包み込んでくれるような塾！  
(上智(外国語)/聖ヨゼフ)

■英語が好きになれる塾！通塾するのを楽しみに思える塾!!  
(上智(文)/カリタス女子)

■先生との距離が近い。本当の英語力を高めることができる。人として素晴らしい先生しかいない。  
(藤田医科(医)/白百合)

■「英語を最強の武器にできる塾」です。  
(聖マリアンナ医科(医)/聖心女子)

■情熱的な先生が多く、少人数なので先生が生徒一人ひとりを把握してくれている塾。宿題は少ないのに、どんどん実力がつき、語源からのアプローチをはじめ、英語に対する見方も変えてくれる。  
(東大(理II)/駒東)

■出合えて良かった塾。  
(東大(文III)/桜蔭)

■密度の高い、対面ならではの良さが詰まった授業が約束されている。生活に英語を組み込むきっかけを与えてくれる一貫した方針が示されて、やりがいがあり楽しめる教材が提供される。  
(東大(理I)/海城)

■教材も解説も素晴らしい！新たな発見にあふれた塾!!  
(東大(理I)/東邦大東邦)

■自分は幸せな受験生活を送れているな、と思える塾！→学ぶことの楽しさ、いろいろな科目の勉強が有機的に結びつく楽しさを存分に味わえる塾だと思います。  
(慶應(法)/鷗友)

■受付の方の丁寧さと、授業の充実ぶりは他塾よりも格段に高いと思っています！  
(上智(総合人間科学)/東大附属)

■生徒一人ひとりに全力で向き合ってくれる塾。Gノは英語で有名ですが、国語も良いということをアピールしたいです！  
(東大(文II)/雙葉)

■大学受験はもちろん、受験の先まで見据えた学習を安心してすることが出来る塾。  
(東大(理II)/開成)

■勉強と本気で向き合える塾。  
(東大(理II)/海城)

■“英語”を読む・書く・聞くが本当にできるようになる塾。  
(東北(医)/駒東)

■大学受験のその先にも通用する英語力を自然と身につけられる唯一無二の塾。  
(一橋(経済)/海城)

■受験で役立つのはもちろん、受験勉強を超えてより深い知識・知恵を得られる塾。  
(京都(法)/大妻)

■英語の本質を学べて、英語そのものを楽しめる塾。  
(都立大(健康福祉)/戸山)

■素晴らしい塾です！あと、帰国生が英語を学ぶのに本当に適していると思います。  
(慶應(法)/白百合)

■とにかく楽しい授業！様々なテーマの英文を解説していただけるので、飽きないし教養もつきます。自信を持って得意だ！と言えるレベルまで持っていくことができます。  
(東大(理II)/学附)

■同じ「英語で書かれた文章が読める」という言葉でも、Gノの英語の先生方が導いてくださったそれはずっと高いレベルの「読める」だったと思います。  
(東外大(国際社会)/頌栄)

■その名の通り、「知の力」が得られる塾！  
(東京医科歯科(医)/開成)

■騙されたと思ってなるべく早く一度体験するべきです。  
(東大(文I)/本郷)

■Gnobleの英語は素晴らしいです。  
(東大(文I)/本郷)

■とにかく先生が熱心で、英文教材も味わい深い塾です。  
(東大(文II)/渋渋)

■丁寧に生徒一人ひとりに向き合ってくれる先生方がたくさんいる、温かい塾。  
(東大(文II)/駒東)

■Gノなら英語を楽しく学べる！  
(東大(文III)/JG)

■毎週面白い英文を扱う、行くのが楽しみになる塾。  
(東大(文I)/駒東)

■先生がとてもフレンドリーで、毎週通うのが楽しい塾。  
(東大(文II)/駒東)

■アットホーム、先生の熱意が大きい、通塾するのが楽しい塾。  
(東大(文I)/筑駒)

■英語を本質から学ぶことができる塾。  
(東大(文III)/日比谷)

■通うのが楽しみになるほど明るいが、必ず実力を伸ばしてくれると信じられる塾。  
(東大(文I)/渋渋)

■先生方との距離が近いのも良いところで、質問もしやすく個人へのアドバイスも的確でした。  
(東大(文I)/武蔵)

■受験中の息抜きになるほど楽しく通える塾で、実力もつく塾です。  
(東大(理II)/日比谷)

■宿題は少なめなのに、授業とその復習を毎週くり返していたら英語が得意になったくらい、辛い思いをせず(もちろん努力は必要です)、楽しみながら力が上がっていきます。  
(東大(理II)/桜蔭)

■先生を信頼して努力すれば、必ずや学力を伸ばせる塾!!!  
(東大(理II)/学習院)

■高2の冬期では、英語が本当に苦手で、「もうダメかも」と時期尚早ながら思っていたが、「Gノメソッド」を信じて勉強し続けた結果、秋頃に大幅に英語力が伸び、いつの間にか受験直前には最も得意な科目になっていた。(本当です)  
(京大(工)/駒東)

■質、量ともに非の打ち所がない教材と、細やかな添削、解説。安心して英語を任せられる塾。  
(京大(法)/武蔵)

■どの先生にも名前をすぐに覚えてもらえる。気軽に質問ができ、分からない所をそのままにすることなく解決できる。  
(京大(工)/海城)

■ただ覚えさせる授業ではなく、根本的なところから派生して教えてくれるところがとても分かりやすいと思ったのが第一印象です。  
(京大(工)/城北)

■勉強が好きになる塾!!  
(一橋(社会)/鷗友)

■英語を武器にできる。勉強以外の学びがたくさんある。  
(一橋(社会)/浦和明の星)

■英、数、国全部最高の塾。  
(一橋(法)/桜蔭)

■「知の力」が身につく塾。素晴らしい先生方に教えていただき、切磋琢磨して成長できる塾。  
(一橋(法)/学附)

■Gノと出会えて、受験のためだけでなく、これから先の人生のための勉強をしようと思えるようになり、勉強が高2までと比べて好きになりました。  
(東工大(工)/桜蔭)

■先生と生徒の距離が近い塾。  
(慶應(法)/光塩女子)

■私の学校は進学校ではないと思っていたので、慶應に行けるとは想像もしていませんでした。とにかく、Gnobleの先生には感謝しています。  
(慶應(文)/獨協埼玉)

■周りから刺激をもらいながら、日々の成長を楽しめる塾。  
(慶應(理工)/光塩女子)

■先生方がとてもフレンドリーで、すぐに名前を覚えてくださり、温かい塾だなと思いました。  
(慶應(経済)/洗足学園)

■一番良かったのは、とにかく授業が面白く、分かりやすいところです。解説もとても丁寧で、知的好奇心をくすぐられるような内容の文章を選んでくださり、復習していても楽しい教材でした。  
(慶應(経済)/駒東)

■英語が好きになったことに加え、Gnobleの教材を通して物事を深く考えられるようになったと思います。  
(慶應(経済)/駒東)

■クラスの雰囲気も良く、楽しく、確実に英語を学べる塾。  
(慶應(経済)/駒東)

■講習に行き、生徒参加型の授業の雰囲気が好きだったため入塾を決めました。やった分だけ確実に実力が伸びる塾でした。  
(早稲田(文)/聖心女子)

■英語力がつくり、いつも楽しいと思える！  
(順天堂(医)/青学)

■毎回の授業で発見があって、英語を楽しく学べます！  
(東工大(情報理工)/学附)

■先生に質問もしやすく、生まれて初めて「塾に通うのが楽しい！」と思えました。  
(東工大(理)/頌栄女子)

■成績が伸び悩んでいた頃、英語の良い評判を聞いて入塾を決めました。初めての授業では、内容の濃さに圧倒されながらもこの塾についていけばきっと英語ができるようになるだろうと思いました。  
(東工大(環境・社会理工)/豊島岡女子)

■先生と生徒の質がとても高く、入塾して絶対に後悔しない塾です！  
(東外大(言語文化)/学習院女子)

■まだ小学6年生だった頃にスタートダッシュ講座から通いました。成長を実感できる塾です！一言で表せないくらいの良さがいっぱいにつまった塾です!!  
(旧医(医)/白百合)

# 受験を超えて、ゆく

グノーブルは、受験に合格することだけを目的とした塾ではありません。

グノーブルで積み重ねていく「知の力」は、  
どんな時代にも変わらない価値があると信じています。

グノーブルで学ぶ日々が、受験を終えても、みなさんの人生のどこかで支えになれるように。

そのために、わたしたちは日々、みなさん一人ひとりの顔を想い浮かべながら、  
新鮮な教材を選び、集中できる環境を整え、真摯に向き合い続けていくことをお約束します。

受験の先を見据えた「グノーブルの学び」を、ぜひ体感してください。

## 大学受験



大学受験 グノーブル

難関大学・医学部を目指す中1生～大学受験生

本物の知的体力がますます求められています。その知の力を伸ばすのに最も大切な要件は、前向きになれる、知的刺激にあふれた環境で学ぶことです。授業形式、教材、そして、教職員の接し方に至るまで、皆さんが意欲的になれる環境を整備し、難関大学・学部を目指す皆さんをしっかりサポートしていきます。

## 中学受験



中学受験 グノーブル

難関中学を目指す小学生

最新の入試傾向に対応したカリキュラム、精選されたオリジナルテキストを基に、経験豊かな講師陣が一人ひとりに向き合った双方向の授業を展開し、難関中を目指す子どもたちを導いていきます。学習したい教科や志望校別のクラスが選択できるなど、中学受験に関するさまざまなご要望にお応えしていきます。

## 個別指導



個別指導 グノリンク

難関校を目指す小学生～大学受験生

生徒一人ひとりに心を配り、その子の持つ可能性を追求します。学習状況に合わせて、講師1名に生徒2名、あるいは生徒1名の完全個人指導体制を提供します。中学受験・大学受験グノーブルと並行して通うことも可能です。グノーブルオリジナルテキスト等も併用しながら、個別に対応します。

## 英会話



英会話 グノキッズ

0歳児～小学生

さまざまな楽しい英語体験を通して、聞く、話す、読む、書くの4つの力を伸ばします。先生2名に生徒は8名程のクラスで、ネイティブの英語に触れ、親しむことができます。ご家庭での学習も配慮した教材で、継続的な学習を無理なく行うことができます。

## Gnoble グループ 各校舎所在地



大学受験 **グノーブル**  
個別指導 **グノリンク**

中学受験 **グノーブル**  
英会話 **グノキッズ**

グノーブル総合案内  
[www.gnoble.com](http://www.gnoble.com)